

6 土壌・地下水・地盤関係

(1) 令和元年度 地下水質測定結果（概況調査）

(mg/L)

市 町 村 名	那覇市	渡嘉敷村	座間味村	渡名喜村	石垣市	竹富町	与那国町	
地 区 名	真和志	字渡嘉敷	字阿嘉	—	字真栄里	竹富	与那国	
採 水 年 月 日	R1. 8. 20	R1. 8. 28	R1. 10. 8	R1. 8. 30	R1. 8. 21	R1. 8. 21	R2. 1. 21	
pH	環境基準値	8. 3	8. 0	7. 6	7. 8	7. 3	7. 4	7. 6
	カドミウム	0. 003以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
全シアン	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
鉛	0. 01以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
六価クロム	0. 05以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
砒素	0. 01以下	不検出	0. 006	不検出	不検出	不検出	0. 004	
総水銀	0. 0005以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
アルキル水銀	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
P C B	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
ジクロロタン	0. 02以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
四塩化炭素	0. 002以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
クロロエチレン (塩化ビニルモノマー)	0. 002以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
1, 2-ジクロロタン	0. 004以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
1, 1-ジクロロエチレン	0. 1以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
1, 2-ジクロロエチレン	0. 04以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
1, 1, 1-トリクロロタン (MC)	1以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
1, 1, 2-トリクロロタン	0. 006以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
トリクロロエチレン (TCE)	0. 01以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
テトラクロロエチレン (PCE)	0. 01以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
1, 3-ジクロロプロペン	0. 002以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
チラウム	0. 006以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
シマジン	0. 003以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
チオベンカルブ	0. 02以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
ベンゼン	0. 01以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
セレン	0. 01以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10以下	2. 96	1. 57	0. 71	5. 55	3. 23	0. 24	1. 76
ふっ素	0. 8以下	不検出	0. 31	0. 13	0. 39	0. 06	0. 11	不検出
ほう素	1以下	0. 03	0. 06	0. 07	0. 06	不検出	0. 04	0. 02
1, 4-ジオキサン	0. 05以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	

6 土壌・地下水・地盤関係

(2) 令和元年度 地下水質測定結果（継続監視調査）

市町村	字 井戸番号	項目	: 基準超過							(mg/L)	
			砒素	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	1,1,1-トリ クロロエタン	塩化ビニ ルモノマー	1,2-ジクロ ロエタン	ほう素	硝酸性窒素 及び亜硝酸 性窒素	
基準値			0.01 以下	0.01 以下	0.01 以下	1以下	0.002 以下	0.004 以下	1以下	10以下	
採水日											
浦添市	屋富祖	R1.9.9	0.077	—	—	—	—	—	—	—	
	当山	R1.9.9	0.018	—	—	—	—	—	—	—	
沖縄市	与儀	R1.9.11	0.024	—	—	—	—	—	—	—	
西原町	小那覇	R1.9.9	—	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	—	—	
北谷町	桑江	R1.9.9	0.011	—	—	—	—	—	—	—	
嘉手納町	屋良	R2.2.13	—	0.0090	0.0011	不検出	不検出	—	—	—	
読谷村	楚辺	R1.12.10	0.002	—	—	—	—	—	1.1	—	
うるま市	石川	R1.9.11	0.006	—	—	—	—	—	—	—	
	与那城 屋慶名	R1.9.11	0.002	—	—	—	—	—	—	—	
恩納村	谷茶	R2.2.13	不検出	—	—	—	—	—	—	—	
宮古島市	伊良部 仲地	R2.1.28	—	—	—	—	—	—	—	4.3	

7 赤土関係

(2) サンゴ調査結果概要（定点観測調査結果）

調査区域	生息環境	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		主な出現種（R元年度）
		種類数	被度(%)	種類数	被度(%)	種類数	被度(%)	種類数	被度(%)	種類数	被度(%)	
平南川 河口	No.2 水深5m岩盤	4	5.0	3	2.0	4	2.4	6	2.4	10	2.4	ハマサンゴ属(塊状)、ミドリイシ属(樹枝状)、トゲキメイシ属(被覆状)
	No.3 水深4m岩盤	11	3.0	11	5.0	12	5.6	13	5.6	15	6.9	トゲキメイシ属(被覆状)、ルサンゴ(塊状)、スリハチサンゴ属(葉状)
源河川 河口	No.1 水深3m岩盤	11	4.0	10	4.0	10	4.5	10	4.5	9	5.8	トゲキメイシ属(被覆状)、ハマサンゴ属(塊状)、キメイシ属(塊状)
	No.3 水深2m岩盤	4	1.0	3	0.1	3	0.9	3	0.9	4	1.1	トゲキメイシ属(被覆・塊状)、ハマサンゴ属(塊状)、スリハチサンゴ
平良川 河口	No.2 水深4m岩盤	22	6.0	21	6.0	20	6.8	17	6.8	18	6.9	エビイダハマサンゴ(樹枝状)、トゲキメイシ属(被覆状)、ツクスリハチサンゴ(葉・被覆状)
	No.3 水深3.5m岩盤	1	1.0	1	0.1	1	0.1	1	0.1	4	0.1	トゲキメイシ属(被覆状)、ハマサンゴ属(塊状)、カミノキメイシ属(塊状)
赤瀬 海域	No.2 水深2.5m岩盤	4	45.0	3	85.0	2	92.2	2	92.2	2	96.1	コモンサンゴ属(樹枝状)
	No.3 水深2m岩盤	7	35.0	6	50.0	4	49.0	4	49.0	4	41.9	アササンゴモドキ属(被覆状)、コモンサンゴ属(樹枝状)、コモンサンゴ属(被覆状)
漢那中港 川河口	No.1 水深1.5m岩盤	2	8.0	2	8.0	2	7.4	2	7.4	2	8.1	カミノキメイシ(塊状)
	No.3 水深2.5m岩盤	2	0.1	3	0.1	3	0.2	4	0.2	3	0.2	ハナギサイサンゴ(樹枝状)、ハマサンゴ属(塊状)、アミサンゴ(塊状)
加武川 河口	No.2 水深2m岩盤	4	0.8	7	1.0	6	1.0	8	1.0	10	1.6	ルサンゴ属(塊状)、ウスチキメイシ(塊状)、コモンサンゴ属(被覆状)
	No.3 水深1.5m岩盤	7	3.0	7	3.0	7	3.1	8	3.1	6	4.1	ハマサンゴ属(塊状)、ルサンゴ属(塊状)、カクキメイシ(塊状)
石川川 河口	No.2 水深2m岩盤	2	2.0	2	2.0	2	2.2	2	2.2	2	2.2	ハマサンゴ属(塊状)、コカキメイシ(塊状)
	No.3 水深5m岩盤	10	19.0	9	27.0	10	26.7	10	26.7	10	26.4	ハマサンゴ属(塊状)、アササンゴ属(塊状)
アージ島 海域	No.2 水深1m砂地	1	0.1	1	0.1	1	0.1	1	0.1	1	0.1	コブハマサンゴ(塊状)
	No.3 水深2m砂地	2	37.0	2	1.0	2	1.3	2	1.3	2	1.5	コブハマサンゴ(塊状)、アササンゴモドキ属(被覆状)
大度 海岸	No.1 水深1m岩盤	1	0.1	2	0.1	1	0.1	2	0.1	2	0.1	ハナカミノキメイシ(塊状)、ハマサンゴ属(塊状)
	No.2 水深3m砂地	8	20.0	9	25.0	8	22.9	9	22.9	9	24.4	ハマサンゴ属(塊状)
宮良川 河口	No.2 礁原の岩盤上	7	5.0	7	8.0	7	9.0	7	9.0	10	14.1	アラルサンゴ(塊状)
白保海域	No.1 モリヤマクチ近くの岩盤上	11	7.0	9	1.0	10	0.8	9	0.8	12	0.6	カンホクアササンゴモドキ(被覆状)、ショウカサンゴ(樹枝状)、エダコモンサンゴ(樹枝状)
	No.2 礁地内の岩盤上	6	9.0	6	7.0	5	6.5	5	6.5	5	7.5	ハマサンゴ属(塊状)
	No.3 礁地内の岩盤上	13	48.0	11	42.0	11	36.8	9	36.8	11	42.8	コノハシロサンゴ(葉状)、エビイダハマサンゴ(樹枝状)、シコロキメイシ(塊状)
阿嘉島 海域	No.1 水深3m砂地	9	72.0	10	64.0	9	64.8	9	64.8	13	61.8	エビイダハマサンゴ(樹枝状)、アササンゴモドキ属(樹枝状)
	No.2 水深3m礁原	12	5.0	14	7.0	15	12.3	15	12.3	20	23.9	ミドリイシ属(樹枝状)、ミドリイシ属(テーブル状)

備考

- ① 結果は、各定点の方形枠内（2m×2m）のサンゴの出現種、被覆度を表示
- ② 宮良川・白保海域は平成11年度から調査開始
- ③ 阿嘉島海域は、サンゴ状況の参考地点

(3) 底質中懸濁物質含量 (SPSS) 測定結果 (重点監視海域調査結果)

調査海域	調査地点	令和元年度		
		第1回調査	第2回調査	第3回調査
大井川河口	調査日	R1. 7. 3	R1. 11. 7	R2. 2. 2
	018-1	264. 2	24. 6	39. 9
	018-2	298. 0	105. 1	33. 8
	018-3	59. 3	32. 0	20. 3
	幾何平均	167. 1	43. 6	30. 1
大小堀川河口	調査日	R1. 7. 3	R1. 11. 7	R2. 2. 2
	022-1	69. 0	213. 4	62. 7
	022-2	707. 6	16. 3	31. 3
	022-3	694. 1	75. 3	46. 1
	幾何平均	323. 5	64. 0	44. 9
屋嘉田潟原	調査日	R1. 7. 2	R1. 11. 6	R2. 2. 1
	040-Y03	329. 0	58. 2	197. 0
	040-Y04	60. 9	44. 1	36. 2
	040-Y14	55. 2	18. 8	60. 4
	040-Y16	9. 9	125. 4	2. 7
	040-Y31	59. 3	13. 8	63. 9
	幾何平均	47. 0	30. 0	23. 7
平良川河口	調査日	R1. 7. 4	R1. 11. 27	R2. 1. 29
	016-01	398. 8	24. 1	40. 3
	016-02	565. 7	22. 1	90. 9
	幾何平均	311. 7	15. 6	66. 2
慶佐次川河口	調査日	R1. 7. 4	R1. 11. 27	R2. 1. 29
	015-1	74. 5	3. 0	24. 4
	015-2	145. 8	22. 9	90. 9
	幾何平均	194. 9	24. 8	98. 8
漢那中港川河口	調査日	R1. 7. 4	R1. 11. 25	R2. 1. 31
	043-1	35. 7	7. 1	13. 6
	043-3	301. 3	28. 7	30. 3
	幾何平均	74. 1	19. 1	27. 7
池味地先	調査日	R1. 7. 5	R1. 12. 14	R2. 1. 28
	053-1	72. 1	68. 1	69. 2
	053-2	139. 7	168. 9	159. 3
	幾何平均	105. 5	76. 2	150. 3
大度海岸	調査日	R1. 7. 3	R1. 10. 30	R2. 1. 27
	066-OD06	4. 9	4. 4	3. 2
	066-OD38	41. 3	19. 7	10. 2
	066-OD41	3. 6	4. 2	3. 3
	066-OD19	209. 8	12. 8	75. 3
	幾何平均	19. 7	8. 2	9. 5
ウフビシ (重要サンゴ群集等)			R1. 11. 7	
大度 (重要サンゴ群集等)			R1. 10. 30	
			17. 6	
			19. 7	

調査海域	調査地点	令和元年度			
		第1回調査	第2回調査	第3回調査	
久米島周辺	調査日	R1. 7. 23	R1. 10. 28	R2. 2. 3	
	071-1	250. 6	16. 7	7. 9	
	071-2	166. 9	57. 6	77. 0	
	071-3	80. 5	55. 2	79. 8	
	幾何平均	149. 9	37. 5	36. 4	
儀間川河口	調査日	R1. 7. 23	R1. 10. 28	R2. 2. 3	
	073-03	20. 8	55. 2	60. 7	
	073-06	3. 3	7. 6	16. 7	
	073-09	15. 6	16. 4	56. 3	
	073-35	1. 8	3. 4	17. 4	
	幾何平均	6. 6	12. 4	31. 5	
慶良間 周辺	渡嘉志久ビーチ (対照地点)		R1. 12. 10		
	安波連ビーチ (対照地点)		R1. 12. 10		
宮古島 周辺	南静園地先海域 (対照地点)		R1. 11. 8		
	シギラ (対照地点)		R1. 11. 8		
西表島周辺	調査日	R1. 7. 16	R1. 12. 16	R2. 1. 24	
	097-1	32. 6	21. 0	21. 5	
	097-2	40. 8	31. 9	36. 1	
	097-3	29. 2	2. 5	6. 9	
	幾何平均	33. 8	11. 9	17. 5	
	野崎川河口	調査日	R1. 7. 16	R1. 12. 17	R2. 1. 24
		099-1	93. 8	43. 4	77. 6
		099-2	68. 1	34. 8	68. 3
		幾何平均	73. 0	19. 7	43. 6
	与那良川河口	調査日	R1. 7. 16	R1. 12. 17	R2. 1. 24
		103-1	93. 8	44. 2	70. 1
		103-2	36. 5	15. 1	23. 7
		幾何平均	75. 9	27. 9	38. 9
嘉弥真水道					
浦内川河口 (096-2) (対照地点)		R1. 12. 16			
浦内川河口 (096-3) (対照地点)		R1. 12. 16			
鳩間島南 (重要サンゴ群集等)		R1. 12. 16			
マルゲー (重要サンゴ群集等)		R1. 12. 17			
		9. 8			
		131. 3			
		11. 1			
		7. 1			

7 赤土関係

調査海域	調査地点	令和元年度		
		第1回調査	第2回調査	第3回調査
嘉良川 河口	調査日	R1. 7. 10	R1. 11. 13	R2. 1. 23
	083-1	250.6	26.8	19.3
	083-2	166.9	10.9	4.1
	083-3	80.5	36.4	13.0
	幾何平均	149.9	22.0	10.1
大浦川 河口	調査日	R1. 7. 10	R1. 11. 13	R2. 1. 23
	084-OU08	38.5	28.3	13.7
	084-OU10	45.7	124.2	69.0
	084-OU19	242.5	77.6	96.0
	084-OU32	121.9	77.0	82.7
	084-OU48	40.2	67.2	16.7
	幾何平均	79.6	75.7	47.8
吹通川 河口	調査日	R1. 7. 11	R1. 11. 12	R2. 1. 21
	085-1	8.7	12.5	6.1
	085-2	96.7	26.1	15.2
	085-3	21.7	78.7	30.8
	幾何平均	26.3	29.5	14.2
浦底湾	調査日	R1. 7. 11	R1. 11. 12	R2. 1. 21
	086-1	41.8	30.8	12.8
	086-2	43.4	18.5	16.7
	086-3	41.0	13.6	9.8
	幾何平均	42.1	19.8	12.8
川平湾	調査日	R1. 7. 9	R1. 11. 12	R2. 1. 22
	087-1	26.8	21.0	17.9
	087-2	43.5	45.2	22.9
	087-3	43.2	42.6	28.3
	幾何平均	36.9	34.3	22.6

調査海域	調査地点	令和元年度		
		第1回調査	第2回調査	第3回調査
崎枝湾	調査日	R1. 7. 9	R1. 11. 12	R2. 1. 22
	088-1	21.4	22.1	10.8
	088-2	43.5	28.6	35.8
	088-3	39.6	35.4	24.4
	幾何平均	33.3	28.1	21.1
名蔵湾	調査日	R1. 7. 11	R1. 11. 14	R2. 1. 21
	090-1	159.6	72.1	96.7
	090-2	26.8	17.6	17.3
	090-3	51.2	30.1	19.7
	幾何平均	60.3	33.7	32.0
白保 海域	調査日	R1. 7. 8	R1. 11. 13	R2. 1. 20
	095-S07	49.9	19.3	31.9
	095-S16	102.3	155.3	65.8
	095-S19	13.0	25.6	14.3
	幾何平均	31.2	29.6	23.8
宮良川 河口	調査日	R1. 7. 15	R1. 11. 11	R2. 1. 20
	094-1	56.9	52.5	87.0
	094-2	755.7	246.0	84.5
	094-3	138.4	12.1	70.6
	幾何平均	143.4	57.6	77.8
伊原間 (対照地点)			R1. 11. 13	
			29.8	
川平湾外 (対照地点)			R1. 11. 12	
			6.0	
白保アオサンゴ (重要サンゴ群集等)			R1. 11. 15	
			15.5	

(4) 環境保全目標の達成状況

調査海域		環境保全目標（堆積指標）による評価				
		H21-23年度類型	R元年度類型用 SPSS値 (kg/m ³)	R元年類型	目標類型	評価
沖縄本島 周辺	大井川河口	サンゴ場C	264.2	サンゴ場C	サンゴ場A	△
	大小堀川河口	サンゴ場C	707.6	サンゴ場B	サンゴ場C	△
	屋嘉田潟原	海草藻場B	60.4	海草藻場B	海草藻場A	△
	平良川河口	サンゴ場C	398.8	サンゴ場C	サンゴ場B	△
	慶佐次川河口	サンゴ場C	74.5	サンゴ場C	サンゴ場A	△
	漢那中港川河口	サンゴ場C	301.3	サンゴ場C	サンゴ場A	△
	池味地先	海草藻場B	169.9	海草藻場B	海草藻場A	△
	大度海岸	サンゴ場C	41.3	サンゴ場B	サンゴ場A	○
	ウフビシ（重要サンゴ群集等）		17.6	サンゴ場A	サンゴ場AA	▲
	大度（重要サンゴ群集等）		19.7	サンゴ場A	サンゴ場AA	▲
久米島 周辺	真謝川河口	サンゴ場C	250.6	サンゴ場C	サンゴ場A	△
	儀間川河口	サンゴ場C	17.4	サンゴ場A	サンゴ場A	◎
慶良間 周辺	渡嘉志久ビーチ（対照地点）		3.8	サンゴ場AA	対照地点は目標なし	
	安波連ビーチ（対照地点）		40.9	サンゴ場B	対照地点は目標なし	
宮古島 周辺	南静園地先（対照地点）		17.9	サンゴ場A	対照地点は目標なし	
	シギラ（対照地点）		34.4	サンゴ場B	対照地点は目標なし	
石垣島 周辺	嘉良川河口	サンゴ場C	20.5	サンゴ場A	サンゴ場B	◎
	大浦川河口	サンゴ場C	89.0	サンゴ場C	サンゴ場B	△
	吹通川河口	サンゴ場C	45.8	サンゴ場B	サンゴ場B	◎
	浦底湾	サンゴ場C	42.1	サンゴ場B	サンゴ場B	◎
	川平湾	サンゴ場B	34.2	サンゴ場B	サンゴ場A	△
	崎枝湾	サンゴ場C	33.3	サンゴ場B	サンゴ場B	◎
	名蔵湾	サンゴ場C	65.5	サンゴ場C	サンゴ場B	△
	白保海域	サンゴ場C	49.9	サンゴ場B	サンゴ場A	○
	宮良川河口	サンゴ場C	757.7	サンゴ場C	サンゴ場B	△
	伊原間（対照地点）		29.8	サンゴ場A	対照地点は目標なし	
	川平湾外（対照地点）		6.0	サンゴ場AA	対照地点は目標なし	
白保アオサンゴ（重要サンゴ群集等）		15.5	サンゴ場AA	サンゴ場AA	▲	
西表島 周辺	野崎川河口	サンゴ場C	36.5	サンゴ場B	サンゴ場B	◎
	与那良川河口	サンゴ場C	93.8	サンゴ場C	サンゴ場A	△
	嘉弥真水道	サンゴ場C	75.9	サンゴ場C	サンゴ場B	△
	浦内川河口(096-2)（対照地点）		9.8	干潟A	対照地点は目標なし	
	浦内川河口(096-3)（対照地点）		131.3	干潟B	対照地点は目標なし	
	鳩間島南（重要サンゴ群集等）		11.1	サンゴ場A	サンゴ場AA	▲
	マルゲー（重要サンゴ群集等）		7.1	サンゴ場AA	サンゴ場AA	●

集計	重点監視海域 （対照地点、重要サンゴ群集等地点除く）	目標達成海域（上記、◎）	06 海域	27%
		H21-23年度より改善海域（上記、○）	2 海域	9%
		H21-23年度から改善していない海域（上記、△）	14 海域	64%
		H21-23年度から悪化した海域（上記、×）	0 海域	0%
集計	重要サンゴ群集等地点	目標達成地点（上記、●）	1 海域	20%
		目標未達成地点（上記、▲）	4 海域	80%

7 赤土関係

(5) 赤土等に係る環境保全目標類型

サンゴ場における環境保全目標類型

類型	堆積指標	海域の概観	主に見られる生物
	SPSS(kg/m ³)		
サンゴ場AA	1～10未満 (ランク3～4)	底質は、砂をかき混ぜると懸濁物質の舞い上がりが確認できる程度。生き生きとしたサンゴ礁生態系が見られ、樹枝状のミドリイシ属やコモンスンゴ属の群落等がサンゴ場内に発達し、大規模群落を形成することもある。サンゴ群落内の岩盤には清浄域を好むヒメジャコ、サボテングサ等が局所的に生息し、群落横の砂地にはサツマビナ等の貝類が埋在する。また、周辺ではサンゴ類を利用するスズメダイ類やベラ類等の魚類が多く見られる他、色とりどりの魚類が遊泳する。	サンゴ類：ミドリイシ属(コビミドリイシ、サンカクミドリイシ等)、コモンスンゴ属(エダコモンスンゴ、ノリコモンスンゴ等) ベントス類：サツマビナ、スナギンチャク科、ホンナガウニ、ヒメジャコ、ツマジロナガウニ 海藻草類：サボテングサ、ハイオオギ、ピロウドガラガラ属、アミジグサ属 魚類：スズメダイ科の内、デバスズメダイ、アオバスズメダイ、ミツボシクロスズメダイ、ロクセンズズメダイ等サンゴ上に生息する種群、ノドグロベラ、アカオビベラ、スジベラ、トカラベラ、カノコベラ
サンゴ場A	10～30未満 (ランク5a)	底質は注意して見ると懸濁物質の存在がわかる。生き生きとしたサンゴ礁生態系が見られ、サンゴ類を中心とした良好な生態系が維持されている。樹枝状サンゴから塊状サンゴまで多種のサンゴ類が生息し、周辺には清浄域を好むベントス類・海藻類、およびサンゴ類を利用するスズメダイ類を中心とした魚類が遊泳する。	
サンゴ場B	30～50未満 (ランク5b)	底質の表面にホコリ状の懸濁物質がかぶさる。透明度が悪くなり、サンゴ被度に影響が開始する。また、樹枝状サンゴの出現割合が減少し、塊状サンゴの出現割合が増加し始める。サンゴ類を利用する魚類が減少し始め、カザリハゼ等の砂、砂泥に住む魚類の出現が増加し始める。	サンゴ類：キクメイシモドキ※ ベントス類：ニワトリガキ、カニノテムシロ、ケヤリムシ科、ウニジャコ科 海藻草類：ヒメテングサ、コノハノリ科、アオノリ属、アオサ属 魚類：ハナナガモチノウオ、カザリハゼ、ホンハゼ、タカノハハゼ、シノビハゼ属
サンゴ場C	50以上 (ランク6～8)	一見して赤土等の堆積がわかる。底質攪拌で赤土等が色濃く懸濁。明らかに人為的な赤土等の流出による汚染があると判断。樹枝状サンゴ類の群落はほとんど見られず、塊状のサンゴが大半を占める。岩盤上にはキクメイシモドキ、ニワトリガキ、ヒメテングサ等、砂泥上にはカニノテムシロ等が出現し、泥底にはタカノハハゼ等の泥質依存のハゼ類が出現する。	

注)表中の数字は年間の最大値である。

※ キクメイシモドキは、主にSPSSランク7、8に出現する。

海草藻場における環境保全目標類型

類型	堆積指標	海域の概観	主に見られる生物
	SPSS(kg/m ³)		
海草藻場A	1～50未満 (ランク3～5b)	透明度は高く清浄な海域だが、海草に捕捉された懸濁物質が藻場内にとどまることもある。サンゴ類では、コモンスンゴ属(樹枝状)等が海草とともに群落をなすことがある。海草藻場内にはクサイロカノコ、コブヒトデ、ハゴロモ等が局所的に住み、藻場脇の砂地にはタケノコガイ科等が埋在する。周辺ではキンセンイシモチ、ミツボシキウセン等の魚類が遊泳する。	サンゴ類：コモンスンゴ属(樹枝状) ベントス類：タケノコガイ科の内、ムシロタケ、リュウキュウタケ、カニモリタケ等礁池内砂底に生息する種群、クサイロカノコ、コブヒトデ 海藻草類：ハゴロモ、イトグサ属 魚類：キンセンイシモチ、ミツボシキウセン、ハラスジベラ
海草藻場B	50以上 (ランク6～8)	一見して赤土等の堆積がわかり、海草上に浮泥がかぶる。底質攪拌で赤土等が色濃く懸濁。リュウキュウアマモ等の海草藻場にはミツデサボテングサ等も混在し、局所的にヒメクワノミカニモリやフトコロガイ等の貝類が生息する。周辺ではサラサハゼ属等の泥質を好む魚類が生息する。	サンゴ類：なし ベントス類：ヒメクワノミカニモリ、フトコロガイ、フトコビシヤコ 海藻草類：リュウキュウアマモ、ミツデサボテングサ 魚類：サラサハゼ属、フエフキダイ属の幼魚、タイワンマトイシモチ

注)表中の数字は年間の最大値である。

干潟における環境保全目標類型

類型	堆積指標	海域の概観	主に見られる生物
	SPSS(kg/m ³)		
干潟A	1～100未満 (ランク3～6)	底質の表面に懸濁物質がかぶさる。底質攪拌で赤土等が懸濁する。SPSS値が100kg/m ³ に近づくに従い、種の多様性は高くなる。干潟の表面に甲殻類のミナミコメツキガニ、リュウキュウコメツキガニ、ミナミスナガニ等が見られる。	ベントス類：ミナミコメツキガニ、リュウキュウコメツキガニ、ミナミスナガニ
干潟B	100以上 (ランク6～8)	底質攪拌で赤土等が色濃く懸濁。SPSS値が高くなるに従い、種の多様性は低下する。干潟の表面に巻貝のウミナガ属が見られ、泥内にはミナミメナガオサガニが生息する。点在する岩には、ヒバリガイモドキ、マルアマオブネ、シロスジフジツボ等が生息する。	ベントス類：シロスジフジツボ、ヒバリガイモドキ、マルアマオブネ、ウミナガ属、カノコガイ、ミナミメナガオサガニ

注)表中の数字は年間の最大値である。

8 基地公害関係

(1) 令和元（2019）年度 在日米軍施設・区域環境調査（公共用水域調査結果）

施設・区域名		環境基準	キャンプ・シュワブ		キャンプ・ハンセン		
調査地点番号			60	73	61	64	
調査地点名			久志大川	辺野古川	加武川西支流	福地川	
環境基準類型			未指定	未指定	未指定	未指定	
調 査 項 目	採水月日		2020/1/22	2020/1/22	2020/1/22	2020/1/22	
	採水時刻		11:35	11:00	14:20	13:10	
	天 候		晴	晴	晴	晴	
	気 温 (°C)		22.2	20.0	21.5	24.7	
	水 温 (°C)		16.7	16.0	18.4	18.5	
	色相		無	無	無	無	
	臭気		無	無	無	無	
	透視度 (cm)		>30	>30	>30	>30	
	電気伝導率 (µS/cm)		264	370	241	251	
	PFOS (ng/L)		0.1	<0.1	<0.1	0.1	
	PFOA (ng/L)		1.0	0.1	0.2	0.2	
	生 活 環 境 項 目	pH		7.6	7.7	8.0	8.0
		DO (mg/L)		7.9	9.2	9.6	9.1
		BOD (mg/L)		1.0	<0.5	0.5	<0.5
		SS (mg/L)		<1	<1	<1	<1
		大腸菌群数 (MPN/100ml)		3.3E+03	2.2E+03	1.3E+03	1.7E+03
		全亜鉛 (mg/L)		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
		カドミウム (mg/L)	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		全アン (mg/L)	検出されないこと	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
		鉛 (mg/L)	0.01	<0.002	0.002	<0.002	<0.002
		六価クロム (mg/L)	0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	健 康 項 目	砒素 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		総水銀 (mg/L)	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		PCB (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		ジクロロメタン (mg/L)	0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		四塩化炭素 (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	0.04	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
目	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	トリクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	チラム (mg/L)	0.006	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	シマジン (mg/L)	0.003	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	チオベンカルブ (mg/L)	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	ベンゼン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	セレン (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	10	0.18	0.16	0.15	0.23	
備 考	ふっ素 (mg/L)	0.8	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	
	ほう素 (mg/L)	1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
	1,4-ジチサン (mg/L)	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	

8 基地公害関係

施設・区域名		環境基準	キャンプ・ハンセン		嘉手納飛行場
調査地点番号			65	66	11
調査地点名			美德川	億首川上流	ダクジャク川
環境基準類型			未指定	未指定	B類型補助地点
調	採水月日		2020/1/22	2020/1/22	2020/2/5
	採水時刻		14:45	13:45	10:30
	天 候		晴	晴	小雨
	気 温 (°C)		20.6	22.1	17.9
	水 温 (°C)		16.5	16.5	18.0
	色相		無	無	無
	臭気		無	無	無
	透視度 (cm)		>30	>30	>30
	電気伝導率 (μS/cm)		277	342	758
	PFOS (ng/L)		<0.1	<0.1	1,400
PFOA (ng/L)		<0.1	0.1	45	
査	pH		7.6	7.6	7.2
	DO (mg/L)		9.1	9.4	5.8
	BOD (mg/L)		<0.5	<0.5	0.5
	SS (mg/L)		<1	<1	<1
	大腸菌群数 (MPN/100ml)		3.3E+03	3.3E+03	2.7E+03
	全亜鉛 (mg/L)		<0.001	0.001	0.002
	カドミウム (mg/L)	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	全シアン (mg/L)	検出されないこと	<0.1	<0.1	<0.1
	鉛 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
	六価クロム (mg/L)	0.05	<0.02	<0.02	<0.02
項	砒素 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
	総水銀 (mg/L)	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	PCB (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	ジクロロメタン (mg/L)	0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	四塩化炭素 (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	0.04	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
目	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	トリクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	テトラクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	チラウム (mg/L)	0.006	<0.001	<0.001	<0.001
	シマジン (mg/L)	0.003	<0.001	<0.001	<0.001
	チオベンカルブ (mg/L)	0.02	<0.002	<0.002	<0.002
	ベンゼン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	セレン (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	10	0.22	<0.05	0.73
目	ふっ素 (mg/L)	0.8	<0.08	<0.08	<0.08
	ほう素 (mg/L)	1	<0.05	<0.05	<0.05
	1,4-ジメチル (mg/L)	0.05	<0.005	<0.005	<0.005
	備 考		採水場所近くで岩盤崩落あり		

施設・区域名		環境基準	キャンプ瑞慶覧	
調査地点番号			62	67
調査地点名			白比川	白比川上流
環境基準類型			未指定	未指定
調	採水月日		2020/2/5	2020/2/5
	採水時刻		13:18	12:46
	天 候		小雨	小雨
	気 温 (°C)		18.2	19.5
	水 温 (°C)		19.2	18.5
	色相		無	無
	臭気		無	無
	透視度 (cm)		>30	>30
	電気伝導率 (μS/cm)		827	887
	PFOS (ng/L)		11	—
PFOA (ng/L)		4.1	—	
査	pH		8.0	8.1
	DO (mg/L)		7.1	13.1
	BOD (mg/L)		3.2	1.8
	SS (mg/L)		<1	<1
	大腸菌群数 (MPN/100ml)		7.9E+03	7.9E+03
目	全亜鉛 (mg/L)		0.002	0.003
	カドミウム (mg/L)	0.003	<0.0003	<0.0003
	全シアン (mg/L)	検出されないこと	<0.1	<0.1
	鉛 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002
	六価クロム (mg/L)	0.05	<0.02	<0.02
	砒素 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002
	総水銀 (mg/L)	0.0005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005
	PCB (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005
	ジクロロメタン (mg/L)	0.02	<0.0005	<0.0005
	四塩化炭素 (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004	<0.0005	<0.0005
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	0.1	<0.0005	<0.0005
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	0.04	<0.0005	<0.0005
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1	<0.0005	<0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006	<0.0005	<0.0005
	トリクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005
	テトラクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005
	チラム (mg/L)	0.006	<0.001	<0.001
シマジン (mg/L)	0.003	<0.001	<0.001	
チオベンカルブ (mg/L)	0.02	<0.002	<0.002	
ベンゼン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	
セレン (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/L)	10	2.5	3.4	
ふっ素 (mg/L)	0.8	0.17	<0.08	
ほう素 (mg/L)	1	0.08	0.06	
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.05	<0.005	<0.005	
備 考				

8 基地公害関係

施設・区域名		環境基準	嘉手納飛行場			
調査地点番号			74	75		
調査地点名			字屋良の シリーガー (地下水)	砂辺の インガー (地下水)		
調	採水月日		2020/2/5	2020/2/5		
	採水時刻		10:50	11:11		
	天 候		曇り	曇り		
	気 温 (°C)		18.0	19.8		
	水 温 (°C)		22.9	23.0		
	色相		無	無		
	臭気		無	無		
	透視度 (cm)		>30	>30		
	電気伝導率 (μ S/cm)		667	1,048		
	pH		7.1	7.3		
	PFOS (ng/L)		1100	51		
	PFOA (ng/L)		66	12		
査	環	カドミウム (mg/L)	0.003	<0.0003	<0.0003	
		全シアン (mg/L)	検出されないこと	<0.1	<0.1	
		鉛 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	
		六価クロム (mg/L)	0.05	<0.002	<0.002	
		砒素 (mg/L)	0.01	<0.02	<0.02	
		総水銀 (mg/L)	0.0005	<0.002	<0.002	
		アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	
		PCB (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	
		境	ジクロロタン (mg/L)	0.02	<0.0005	<0.0005
			四塩化炭素 (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005
			クロエチレン (mg/L)	0.002	<0.0002	<0.0002
			1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004	<0.0005	<0.0005
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		0.1	<0.0005	<0.0005	
	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		0.04	<0.0005	<0.0005	
	基	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1	<0.0005	<0.0005	
		1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006	<0.0005	<0.0005	
		トリクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	
		テトラクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	
		1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	
		チウラム (mg/L)	0.006	<0.001	<0.001	
		項	シマジン (mg/L)	0.003	<0.001	<0.001
			チオベンカルブ (mg/L)	0.02	<0.002	<0.002
ベンゼン (mg/L)			0.01	<0.0005	<0.0005	
セレン (mg/L)			0.01	<0.002	<0.002	
目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	10	0.16	1.1		
	ふっ素 (mg/L)	0.8	<0.08	<0.08		
	ほう素 (mg/L)	1	<0.05	<0.05		
	1,4-ジキサン (mg/L)	0.05	<0.005	<0.005		
備 考						

(2) 令和元(2019)年度基地排水水質等監視調査(公共用水域調査結果)

施設・区域名		キャンプ・シュワブ		キャンプ・ハンセン		
調査地点番号		76	76	3		
調査地点名	環境基準	久志大川支流	久志大川支流	億首川		
調査項目	採水月日		2019/10/9	2019/12/10	2019/10/9	
	採水時刻		10:10	11:00	10:45	
	天候		晴	晴	晴	
	気温(℃)		26.5	22.0	29.5	
	水温(℃)		23.5	17.9	28.3	
	色相		無	無	無	
	臭気		無	無	無	
	透視度(cm)		>30	>30	>30	
	電気伝導率(μS/cm)		352	290	1,365	
	生活環境項目	pH		8.2	8.4	7.4
		DO(mg/L)		8.2	9.3	7.4
		BOD(mg/L)		0.37	0.10	0.80
		SS(mg/L)		<1	<1	1
	健康項目	大腸菌群数(MPN/100ml)		1.3E+03	1.3E+03	<1.8
		全亜鉛(mg/L)		<0.003	<0.003	0.012
		カドミウム(mg/L)	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		全シアン(mg/L)	検出されないこと	<0.1	<0.1	<0.1
		鉛(mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
		六価クロム(mg/L)	0.05	<0.02	<0.02	<0.02
		砒素(mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
		総水銀(mg/L)	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		アルキル水銀(mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		PCB(mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		ジクロロメタン(mg/L)	0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		四塩化炭素(mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,2-ジクロロエタン(mg/L)	0.004	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1-ジクロロエチレン(mg/L)	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		シス-1,2-ジクロロエチレン(mg/L)	0.04	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)	1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)	0.006	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		トリクロロエチレン(mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		テトラクロロエチレン(mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,3-ジクロロプロペン(mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ベンゼン(mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
1,4-ジオキサン(mg/L)	0.05	<0.005	<0.005	<0.005		
チウラム(mg/L)	0.006	<0.001	<0.001	<0.001		
シマジン(mg/L)	0.003	<0.001	<0.001	<0.001		
チオベンカルブ(mg/L)	0.02	<0.002	<0.002	<0.002		
セレン(mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/L)	10	<0.05	0.10	0.36		
ふっ素(mg/L)	0.8	<0.08	<0.08	0.12		
ほう素(mg/L)	1	<0.05	<0.05	0.13		
備考						

8 基地公害関係

施設・区域名		キャンプ・ハンセン		キャンプ桑江		
調査地点番号		3		15		
調査地点名		億首川		第一ゲート横排水溝		
環境基準						
調 査 項 目	採水月日		2019/12/10	2019/8/28	2019/12/11	
	採水時刻		11:30	10:48	11:30	
	天 候		晴	晴	曇り	
	気 温 (°C)		22.0	31.9	18.0	
	水 温 (°C)		22.2	33.9	18.9	
	色相		無	無	無	
	臭気		無	無	無	
	透視度 (cm)		>30	>30	>30	
	電気伝導率 (μ S/cm)		2,260	539	312	
	生 活 環 境 項 目	pH		7.5	7.5	8.3
		DO (mg/L)		8.7	14	16
		BOD (mg/L)		1.0	1.1	1.0
	健 康 項 目	SS (mg/L)		5	9	<1
		大腸菌群数 (MPN/100ml)		<1.8	3.3E+03	5.4E+03
		全亜鉛 (mg/L)		0.015	0.004	0.009
		カドミウム (mg/L)	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		全シアン (mg/L)	検出されないこと	<0.1	<0.1	<0.1
		鉛 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
		六価クロム (mg/L)	0.05	<0.02	<0.02	<0.02
		砒素 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
		総水銀 (mg/L)	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		PCB (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		ジクロロメタン (mg/L)	0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		四塩化炭素 (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	0.04	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
トリクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
テトラクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
ベンゼン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
1,4-ジメチルベンゼン (mg/L)	0.05	<0.005	<0.005	<0.005		
チウラム (mg/L)	0.006	<0.001	<0.001	<0.001		
シマジン (mg/L)	0.003	<0.001	<0.001	<0.001		
チオベンカルブ (mg/L)	0.02	<0.002	<0.002	<0.002		
セレン (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	10	0.76	<0.05	0.15		
ふっ素 (mg/L)	0.8	0.13	0.08	<0.08		
ほう素 (mg/L)	1	0.14	<0.05	<0.05		
備 考						

施設・区域名		キャンプ瑞慶覧				
調査地点番号		18	18	21		
調査地点名	環境基準	北谷南小川	北谷南小川	石川原川		
調査項目	採水月日		2019/8/28	2019/12/11	2019/8/28	
	採水時刻		11:08	11:45	11:41	
	天 候		晴	小雨	晴	
	気 温 (°C)		33.3	17.5	33.8	
	水 温 (°C)		31.6	20.4	28.4	
	色相		無	無	無	
	臭気		無	無	無	
	透視度 (cm)		>30	>30	>30	
	電気伝導率 (μS/cm)		628	461	630	
	生活環境項目	pH		7.6	7.6	7.9
		DO (mg/L)		13	10	9.8
		BOD (mg/L)		0.75	0.51	0.94
	健康項目	SS (mg/L)		9	<1	1
		大腸菌群数 (MPN/100ml)		6.4E+03	5.4E+03	1.7E+04
		全亜鉛 (mg/L)		<0.003	0.011	0.006
		カドミウム (mg/L)	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		全シアン (mg/L)	検出されないこと	<0.1	<0.1	<0.1
		鉛 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
		六価クロム (mg/L)	0.05	<0.02	<0.02	<0.02
		砒素 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
		総水銀 (mg/L)	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		PCB (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		ジクロロメタン (mg/L)	0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		四塩化炭素 (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	0.04	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン (mg/L)		0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
テトラクロロエチレン (mg/L)		0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)		0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
ベンゼン (mg/L)		0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
1,4-ジオキサン (mg/L)		0.05	<0.005	<0.005	<0.005	
チウラム (mg/L)		0.006	<0.001	<0.001	<0.001	
シマジン (mg/L)		0.003	<0.001	<0.001	<0.001	
チオベンカルブ (mg/L)		0.02	<0.002	<0.002	<0.002	
セレン (mg/L)		0.01	<0.002	<0.002	<0.002	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)		10	0.43	0.52	2.2	
ふっ素 (mg/L)		0.8	0.17	0.13	<0.08	
ほう素 (mg/L)		1	<0.05	<0.05	<0.05	
備 考						

8 基地公害関係

施設・区域名			キャンプ瑞慶覧				
調査地点番号			21	20	20	20-2	
調査地点名		環境基準	石川原川	普天間川下流 (基地外)	普天間川下流 (基地外)	普天間川上流 (基地外)	
調 査 項 目	採水月日		2019/12/11	2019/8/28	2019/12/11	2019/8/28	
	採水時刻		12:10	11:21	12:30	13:13	
	天 候		小雨	晴	小雨	晴	
	気 温 (°C)		17.0	33.0	17.5	31.5	
	水 温 (°C)		19.5	32.2	20.6	31.5	
	色相		薄い濁り	無	無	無	
	臭気		無	無	無	無	
	透視度 (cm)		>30	>30	>30	>30	
	電気伝導率 (μ S/cm)		1,972	1,238	456	779	
	生活環境項目	pH		8.0	8.2	7.6	8.3
		DO (mg/L)		8.4	10	9.6	10.7
		BOD (mg/L)		0.93	0.62	1.5	0.92
	健康項目	SS (mg/L)		<1	1	3	<1
		大腸菌群数 (MPN/100ml)		9.2E+03	4.9E+03	5.4E+03	3.5E+04
		全亜鉛 (mg/L)		0.015	0.007	0.033	0.013
	健康項目	カドミウム (mg/L) 0.003		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		全シアン (mg/L) 検出されないこと		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
		鉛 (mg/L) 0.01		<0.002	<0.002	0.003	<0.002
		六価クロム (mg/L) 0.05		<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		砒素 (mg/L) 0.01		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		総水銀 (mg/L) 0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		アルキル水銀 (mg/L) 検出されないこと		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		PCB (mg/L) 検出されないこと		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		ジクロロメタン (mg/L) 0.02		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		四塩化炭素 (mg/L) 0.002		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,2-ジクロロエタン (mg/L) 0.004		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1-ジクロロエチレン (mg/L) 0.1		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L) 0.04		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L) 1		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L) 0.006		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
トリクロロエチレン (mg/L) 0.01		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
テトラクロロエチレン (mg/L) 0.01		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
1,3-ジクロロプロパン (mg/L) 0.002		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
ベンゼン (mg/L) 0.01		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
1,4-ジオキサン (mg/L) 0.05		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
チウラム (mg/L) 0.006		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		
シマジン (mg/L) 0.003		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		
チオベンカルブ (mg/L) 0.02		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
セレン (mg/L) 0.01		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L) 10		1.6	1.1	1.0	2.0		
ふっ素 (mg/L) 0.8		<0.08	0.11	0.18	0.14		
ほう素 (mg/L) 1		<0.05	<0.05	<0.05	0.08		
備 考							

施設・区域名		キャンプ瑞慶覧		普天間飛行場			
調査地点番号		20-2	72	72	72-2		
調査地点名	環境基準	普天間川上流 (基地外)	フルチンガー	フルチンガー	いこいの市民 パーク表流水		
調査項目	採水月日		2019/12/11	2019/9/11	2019/12/4	2019/10/23	
	採水時刻		11:00	15:00	11:45	10:40	
	天 候		曇り	晴	晴	晴	
	気 温 (°C)		18.0	33.0	21.0	28.0	
	水 温 (°C)		18.9	26.4	22.9	26.2	
	色相		無	無	無	無	
	臭気		無	無	無	無	
	透視度 (cm)		>30	>30	>30	>30	
	電気伝導率 (μS/cm)		619	579	820	745	
	生活環境項目	pH		7.4	7.6	7.7	7.6
		DO (mg/L)		8.2	7.8	6.7	6.2
		BOD (mg/L)		3.1	1.1	1.1	6.5
	健康項目	SS (mg/L)		2	2	<1	<1
		大腸菌群数 (MPN/100ml)		1.6E+04	2.3E+03	4.6E+02	3.5E+05
		全亜鉛 (mg/L)		0.015	0.005	0.005	0.013
		カドミウム (mg/L)	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		全シアン (mg/L)	検出されないこと	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
		鉛 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		六価クロム (mg/L)	0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		砒素 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	0.0076
		総水銀 (mg/L)	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		PCB (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		ジクロロメタン (mg/L)	0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		四塩化炭素 (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		0.04	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
トリクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
テトラクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
ベンゼン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
1,4-ジメチル (mg/L)	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
チウラム (mg/L)	0.006	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		
シマジン (mg/L)	0.003	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		
チオベンカルブ (mg/L)	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
セレン (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	10	1.5	1.1	1.9	1.7		
ふっ素 (mg/L)	0.8	0.11	0.08	0.13	0.14		
ほう素 (mg/L)	1	0.05	<0.05	<0.05	0.06		
備 考							

8 基地公害関係

施設・区域名		普天間飛行場				
調査地点番号		72-2	72-3	72-3		
調査地点名	環境基準	いこいの市民パーク表流水	宜野湾自動車学校裏表流水	宜野湾自動車学校裏表流水		
調査項目	採水月日		2019/12/4	2019/10/23	2019/12/11	
	採水時刻		11:00	11:10	10:20	
	天 候		晴	晴	小雨	
	気 温 (°C)		22.0	29.5	18.5	
	水 温 (°C)		21.4	26.0	20.9	
	色相		無	無	無	
	臭気		無	無	無	
	透視度 (cm)		>30	>30	>30	
	電気伝導率 (μ S/cm)		1,026	708	458	
	生活環境項目	pH		7.8	7.5	7.3
		DO (mg/L)		3.4	5.1	6.4
		BOD (mg/L)		12	9.6	8.1
	健康項目	SS (mg/L)		1	<1	2
		大腸菌群数 (MPN/100ml)		2.3E+02	5.4E+05	9.2E+03
		全亜鉛 (mg/L)		0.016	0.010	0.048
		カドミウム (mg/L)	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		全シアン (mg/L)	検出されないこと	<0.1	<0.1	<0.1
		鉛 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
		六価クロム (mg/L)	0.05	<0.02	<0.02	<0.02
		砒素 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
		総水銀 (mg/L)	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		PCB (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		ジクロロメタン (mg/L)	0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		四塩化炭素 (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	0.04	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		トリクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		テトラクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)		0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
ベンゼン (mg/L)		0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
1,4-ジオキサン (mg/L)		0.05	<0.005	<0.005	<0.005	
チウラム (mg/L)		0.006	<0.001	<0.001	<0.001	
シマジン (mg/L)		0.003	<0.001	<0.001	<0.001	
チオベンカルブ (mg/L)		0.02	<0.002	<0.002	<0.002	
セレン (mg/L)		0.01	<0.002	<0.002	<0.002	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	10	2.0	1.4	1.0		
ふっ素 (mg/L)	0.8	0.20	0.11	0.09		
ほう素 (mg/L)	1	0.08	0.05	<0.05		
備 考						

(3) 令和元(2019)年度基地周辺公共用水域測定結果(地下水調査結果)

施設・区域名		キャンプ瑞慶覧		普天間飛行場		
調査地点番号		56	50	51	52	
調査地点名	環境基準	チュンナガー	森川公園内湧水	フンシンガー	ヒヤカーガー	
調査項目	採水月日		2019/9/11	2019/9/11	2019/10/23	2019/10/23
	採水時刻		12:00	14:15	14:00	14:20
	天候		晴	晴	晴	晴
	気温(℃)		30.5	32.0	29.1	30.8
	水温(℃)		24.8	24.6	24.3	24.8
	色相		無	無	無	無
	臭気		無	無	無	無
	透視度(cm)		>30	>30	>30	>30
	電気伝導率(μS/cm)		752	512	807	1172
	pH		7.1	7.1	7.2	7.2
	カドミウム(mg/L)	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	全シアン(mg/L)	検出されないこと	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	鉛(mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	六価クロム(mg/L)	0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	砒素(mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	総水銀(mg/L)	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	メチル水銀(mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	PCB(mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	ジクロロメタン(mg/L)	0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	四塩化炭素(mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	クロロエチレン(mg/L)	0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン(mg/L)	0.004	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,1-ジクロロエチレン(mg/L)	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,2-ジクロロエチレン(mg/L)	0.04	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)	1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)	0.006	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	トリクロロエチレン(mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	テトラクロロエチレン(mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,3-ジクロロプロペン(mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,4-ジクロロベンゼン(mg/L)	0.05	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	チウラム(mg/L)	0.006	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	シマジン(mg/L)	0.003	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
チオベンカルブ(mg/L)	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
ベンゼン(mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
セレン(mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
ふっ素(mg/L)	0.8	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	
ほう素(mg/L)	1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/L)	10	2.1	0.79	2.4	1.2	
備考						

8 基地公害関係

施設・区域名		普天間飛行場			
調査地点番号		68	71		
調査地点名		環境基準	ヒージャガー	宜野湾 クマイーアブ	
調 査 項 目	採水月日		2019/10/23	2019/10/23	
	採水時刻		14:35	11:40	
	天 候		晴	晴	
	気 温 (°C)		28.0	27.1	
	水 温 (°C)		24.6	25.1	
	色相		無	無	
	臭気		無	無	
	透視度 (cm)		>30	>30	
	電気伝導率 (μS/cm)		980	949	
	pH		7.3	7.4	
	健康	カドミウム (mg/L)	0.003	<0.0003	<0.0003
		全シアン (mg/L)	検出されないこと	<0.1	<0.1
		鉛 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002
		六価クロム (mg/L)	0.05	<0.02	<0.02
		砒素 (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002
		総水銀 (mg/L)	0.0005	<0.0005	<0.0005
		アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005
		PCB (mg/L)	検出されないこと	<0.0005	<0.0005
	健康	ジクロロメタン (mg/L)	0.02	<0.0005	<0.0005
		四塩化炭素 (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005
		クロロエチレン (mg/L)	0.002	<0.0002	<0.0002
		1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004	<0.0005	<0.0005
		1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	0.1	<0.0005	<0.0005
		1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	0.04	<0.0005	<0.0005
		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1	<0.0005	<0.0005
		1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006	<0.0005	<0.0005
		トリクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005
	健康	テトラクロロエチレン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005
		1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	0.002	<0.0005	<0.0005
		1,4-ジオキサン (mg/L)	0.05	<0.0005	<0.0005
		チウラム (mg/L)	0.006	<0.001	<0.001
		シマジン (mg/L)	0.003	<0.001	<0.001
		チオベンカルブ (mg/L)	0.02	<0.002	<0.002
	ベンゼン (mg/L)	0.01	<0.0005	<0.0005	
	セレン (mg/L)	0.01	<0.002	<0.002	
	ふっ素 (mg/L)	0.8	<0.08	0.13	
	ほう素 (mg/L)	1	<0.05	<0.05	
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/L)	10	2.0	0.89	
備 考					

(4) 令和元年度 米軍基地周辺公共用水域監視調査(底質分析結果)

施設・区域名		キャンプ・ハンセン	嘉手納飛行場	牧港補給地区
調査地点番号		3	33	60
調査地点名		億首橋	大道川河口沖	牧港補給地区前海岸
採取年月日		2019/10/9	2019/11/12	2019/11/12
乾燥減量	(%)	17.6	22.1	25.4
カドミウム	(mg/kg-dry)	<0.05	<0.05	<0.05
鉛	(mg/kg-dry)	9.2	5.1	2.5
六価クロム	(mg/kg-dry)	<2	<2	<2
砒素	(mg/kg-dry)	2.1	2.7	1.8
総水銀	(mg/kg-dry)	0.02	<0.01	<0.01
PCB	(mg/kg-dry)	<0.01	0.01	<0.01
HCB	(mg/kg-dry)	<0.005	<0.005	<0.005
ドリン類 [※]	(mg/kg-dry)	<0.005	<0.005	<0.005
DDT類 [※]	(mg/kg-dry)	<0.005	0.032	<0.005
クロルデン類 [※]	(mg/kg-dry)	0.009	<0.005	<0.005
HCH類 [※]	(mg/kg-dry)	<0.005	<0.005	<0.005
備考				
※ドリン類、DDT類、クロルデン類、HCH類は複数の物質の合計値。				

8 基地公害関係

(5) 令和元年度 米軍基地周辺公共用水域監視調査(魚類分析結果)

採取場所		牧港地先海域				
検体番号		1	2	3	4	5
検体名		ボラ科	ニシン科 (ドロクイ)	ブダイ科	ニザダイ科	アジ科
採取年月日						
体長 (cm)		26～29		21～24	15～17	20～26
体重 (g)		365～450		390～585	205～285	275～330
カドミウム (mg/kg-dry)		<0.02		<0.02	<0.02	<0.02
鉛 (mg/kg-dry)		<0.05		<0.05	<0.05	<0.05
総クロム (mg/kg-dry)		<0.1		<0.1	<0.1	<0.1
砒素 (mg/kg-dry)		0.58		0.43	0.29	0.21
総水銀 (mg/kg-dry)		<0.01		<0.01	<0.01	0.07
PCB (mg/kg-dry)		0.19		<0.01	0.02	0.15
HCB (mg/kg-dry)		<0.005		<0.005	<0.005	<0.005
ドリン類 ^{**} (mg/kg-dry)		<0.005		<0.005	<0.005	<0.005
DDT類 ^{**} (mg/kg-dry)		0.043		<0.005	0.027	0.057
クロルデン類 ^{**} (mg/kg-dry)		0.10		<0.005	0.13	0.064
HCH類 ^{**} (mg/kg-dry)		<0.005		<0.005	<0.005	<0.005
備考			漁協で指定した魚種の確保ができなかったことから欠測となった			

採取場所	嘉手納飛行場地先海域				
検体番号	1	2	3	4	5
検体名	ボラ科	ニシン科 (ドロクイ)	ブダイ科	カワハギ科/ ニザダイ科	アジ科
採取年月日					
体長(cm)					
体重(g)					
カドミウム (mg/kg-dry)					
鉛 (mg/kg-dry)					
総クロム (mg/kg-dry)					
砒素 (mg/kg-dry)					
総水銀 (mg/kg-dry)					
PCB (mg/kg-dry)					
HCB (mg/kg-dry)					
ドリン類※ (mg/kg-dry)					
DDT類※ (mg/kg-dry)					
クロルデン類※ (mg/kg-dry)					
HCH類※ (mg/kg-dry)					
備考	漁協で指定した魚種の確保ができなかったことから欠測となった				

(6) 令和元年度 基地周辺公共用水域監視調査（ダイオキシン類）（底質分析結果）

施設区域名	採水地点	採水日	測定結果	環境基準値
			pg-TEQ/g	pg-TEQ/g
嘉手納飛行場	比謝川	令和元年11月27日	0.53	150
キャンプマクトリアス	天願川	令和元年11月27日	0.82	
キャンプフォスター	白比川	令和元年11月27日	0.26 (0.22)*	

* : ()内の数値は二重測定の結果

8 基地公害関係

(7) 嘉手納飛行場及び普天間飛行場周辺航空機騒音調査

ア 月別Ldenの推移

令和元年度における嘉手納飛行場及び普天間飛行場周辺の航空機騒音の月別Ldenは、それぞれ下表のとおりです。

月別Ldenの推移（嘉手納飛行場周辺）

(単位：dB)

測定地点\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 美 濃	59	57	56	57	59	60	63	63	63	62	61	60
2 昆 布	59	56	58	57	57	57	62	62	61	60	58	59
3 上 勢	50	46	49	48	46	47	52	54	56	55	53	54
4 宮 城	57	52	58	58	54	51	58	54	56	57	54	57
5 北 見	56	52	53	56	53	53	60	60	59	57	55	57
6 コザ	46	44	45	52	43	44	50	49	50	49	46	48
7 屋良A	58	55	58	58	57	61	62	61	61	60	59	59
8 砂 辺	68	64	69	70	64	57	68	63	65	66	65	66
9 伊良皆	51	52	51	50	46	49	52	50	52	51	51	48
10 桑 江	48	52	44	45	47	45	52	53	53	52	51	49
11 山 内	47	44	46	47	43	44	49	48	50	49	47	47
12 知 花	56	54	54	55	54	53	60	59	59	58	56	58
13 嘉手納	58	60	58	58	58	62	62	62	62	62	62	63
14 兼 久	54	53	54	54	52	57	56	56	56	54	53	55
15 屋良B	59	56	58	60	55	60	60	58	60	59	55	56
16 宮 里	41	42	41	40	36	39	46	44	46	43	43	42
17 北 玉	47	47	41	42	41	40	45	48	47	46	45	45
18 みどり町	45	39	47	53	43	44	49	49	50	48	47	49
19 仲 嶽	40	36	41	42	44	45	43	43	44	46	44	41
20 勝連南風原	51	51	49	46	51	49	51	49	51	51	51	50
21 産喜味	44	43	44	45	42	49	49	48	47	50	50	44

月別Ldenの推移（普天間飛行場周辺）

(単位：dB)

測定地点\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 野 鷲	60	60	57	53	61	57	55	53	56	59	58	57
2 愛 知	47	43	44	42	48	40	42	44	47	46	46	45
3 我如吉	46	44	47	43	46	42	45	45	48	48	50	45
4 上大謝名	64	67	59	57	66	60	61	61	63	62	61	60
5 新 城	58	59	57	55	59	55	55	53	56	57	56	56
6 宜野湾	50	46	53	47	50	46	45	47	50	52	51	50
7 真志喜	56	55	57	52	57	54	55	54	57	57	55	55
8 大 山	56	55	55	52	56	54	54	53	56	56	56	56
9 萩 道	55	53	51	49	53	50	52	48	52	55	55	51
10 大 城	53	53	50	49	53	51	52	49	52	54	54	51
11 熱 田	53	51	48	46	51	46	49	45	49	50	51	48
12 比屋根	53	43	47	40	48	40	44	41	42	47	44	49
13 牧 港	51	49	41	41	43	42	39	40	41	-	-	43
14 当 山	51	52	50	49	54	48	50	46	49	47	46	47
15 内 間	48	50	47	49	50	49	47	49	51	50	49	47

※ 牧港局について、令和2年1月～2月分は機器不調による欠測のため集計に含めていない。

イ 曜日別日平均騒音発生回数

嘉手納飛行場及び普天間飛行場周辺における曜日別日平均騒音発生回数は、平日（月曜日～金曜日）に多く、土曜日及び日曜日は少ない傾向にあります。

曜日別日平均騒音発生回数（嘉手納飛行場周辺）

(回/日)

測定地点\曜日	日	月	火	水	木	金	土
1 美原	21.2	44.7	50.9	52.5	50.6	40.7	27.3
2 昆布	10.1	29.7	34.3	36.2	34.2	26.9	15.0
3 上勢	19.1	51.1	59.9	63.5	57.1	46.2	25.1
4 宮城	18.7	69.2	78.5	80.2	74.5	60.9	30.7
5 北美	7.9	26.9	30.9	32.9	29.8	21.3	10.3
6 コザ	10.9	31.2	38.2	41.1	34.9	28.4	13.9
7 屋良A	28.0	65.0	72.5	72.4	65.7	52.0	33.4
8 砂辺	13.5	66.7	78.0	80.7	70.3	59.6	26.0
9 伊良咩	2.3	26.2	28.4	33.8	26.6	19.5	7.4
10 桑江	1.7	13.7	20.5	21.5	18.0	12.0	3.5
11 山内	5.9	30.4	35.1	39.5	33.7	26.3	8.5
12 知花	13.2	50.9	57.3	58.5	54.0	41.7	21.8
13 嘉手納	4.6	40.7	50.5	56.3	48.8	31.9	6.1
14 兼久	1.5	23.5	29.8	32.6	25.8	16.7	2.5
15 屋良B	3.0	31.0	39.9	42.2	33.6	24.7	9.1
16 宮里	5.3	17.0	20.1	21.1	19.9	14.8	7.3
17 北玉	4.1	17.3	23.9	25.6	23.6	16.4	6.2
18 みどり町	0.8	5.8	6.8	7.3	6.0	3.7	1.1
19 仲嶺	1.0	3.0	4.0	4.1	3.7	2.6	1.1
20 勝連南風原	1.1	5.6	13.5	13.8	12.0	7.3	1.9
21 座喜味	2.7	20.1	28.7	31.1	25.5	21.8	8.3

曜日別日平均騒音発生回数（普天間飛行場周辺）

(回/日)

測定地点\曜日	日	月	火	水	木	金	土
1 野嵩	3.5	21.6	34.9	37.0	36.3	22.5	5.7
2 愛知	1.9	11.9	18.4	19.7	20.8	11.6	2.8
3 我如古	2.0	11.0	18.2	19.7	19.2	10.6	2.3
4 上大謝名	6.6	32.4	48.8	52.9	49.8	34.8	8.6
5 新城	5.5	33.2	57.5	59.4	59.6	39.8	10.5
6 宜野湾	5.8	19.7	27.7	30.2	30.1	20.1	6.8
7 眞志喜	2.5	17.6	34.0	36.8	34.6	20.7	3.2
8 大山	2.9	10.6	22.3	21.5	20.4	12.3	2.6
9 筑遠	3.0	15.9	28.5	30.1	31.4	18.8	5.2
10 大城	6.6	18.5	31.8	32.8	34.5	21.8	8.8
11 熱田	2.4	12.0	22.5	22.9	22.5	16.1	3.5
12 比屋根	3.1	12.3	21.5	21.8	21.2	12.9	4.3
13 牧港 [※]	1.5	6.5	12.0	12.8	12.7	6.9	1.6
14 当山	1.1	9.0	15.5	18.7	15.9	9.9	2.6
15 内間	1.6	7.7	10.1	10.6	11.6	8.6	2.2

※ 牧港局について、令和2年1月～2月分は機器不調による欠測のため集計に含めていない。

8 基地公害関係

ウ 時間帯別平均騒音発生回数

嘉手納飛行場及び普天間飛行場周辺における時間帯別航空機騒音発生回数は、それぞれ下表のとおりです。両飛行場周辺とも、7時～19時における騒音発生比率が概ね80～90%を占めているものの、夜間・早朝にも発生しています。

時間帯別月平均騒音発生回数（嘉手納飛行場周辺）

(回/月)

測定地点\時間帯	N 1 (00時～07時)		N 2 (07時～19時)		N 3 (19時～22時)		N 4 (22時～24時)		終日	22時～06時
	回数	(比率)	回数	(比率)	回数	(比率)	回数	(比率)	回数	回数
1 美原	49.2	(3.9%)	1007.0	(80.2%)	170.1	(13.5%)	29.3	(2.3%)	1255.6	60.3
2 昆布	37.4	(4.6%)	691.6	(85.2%)	71.5	(8.8%)	10.8	(1.3%)	811.2	33.4
3 上勢	19.2	(1.5%)	1091.8	(85.2%)	157.1	(12.3%)	13.1	(1.0%)	1281.2	24.5
4 宮城	37.7	(2.3%)	1355.5	(82.0%)	231.2	(14.0%)	27.7	(1.7%)	1652.0	54.6
5 北美	35.9	(5.1%)	574.1	(82.2%)	79.0	(11.3%)	9.7	(1.4%)	698.7	32.6
6 コザ	15.7	(2.3%)	600.7	(88.3%)	57.9	(8.5%)	5.7	(0.8%)	679.9	16.5
7 屋良A	61.8	(4.2%)	1187.2	(81.0%)	192.6	(13.1%)	23.6	(1.6%)	1465.3	63.9
8 砂辺	35.9	(2.1%)	1426.6	(82.8%)	232.8	(13.5%)	27.2	(1.6%)	1722.5	53.3
9 伊良皆	10.9	(1.7%)	531.6	(84.4%)	82.8	(13.1%)	4.6	(0.7%)	629.9	11.4
10 桑江	2.5	(0.6%)	353.2	(89.1%)	37.9	(9.6%)	2.9	(0.7%)	396.5	4.0
11 山内	17.2	(2.2%)	701.0	(89.1%)	63.0	(8.0%)	5.8	(0.7%)	787.0	15.5
12 知花	36.1	(2.8%)	1103.4	(85.0%)	149.3	(11.5%)	8.8	(0.7%)	1297.5	28.8
13 嘉手納	36.2	(3.5%)	850.5	(81.6%)	122.2	(11.7%)	33.8	(3.2%)	1042.6	56.8
14 兼久	10.2	(1.8%)	519.0	(89.7%)	44.0	(7.6%)	5.3	(0.9%)	578.5	10.0
15 屋良B	21.8	(2.7%)	692.6	(86.5%)	74.8	(9.3%)	11.8	(1.5%)	801.0	26.1
16 宮里	9.2	(2.0%)	384.0	(83.4%)	61.8	(13.4%)	5.4	(1.2%)	460.3	11.7
17 北玉	4.5	(0.9%)	437.4	(85.6%)	62.6	(12.3%)	6.3	(1.2%)	510.8	9.8
18 みどり町	3.5	(2.5%)	127.9	(93.0%)	5.4	(3.9%)	0.8	(0.5%)	137.6	2.4
19 仲嶺	3.2	(3.7%)	69.7	(82.1%)	10.3	(12.1%)	1.8	(2.1%)	84.9	4.4
20 勝連南風原	3.5	(1.5%)	200.9	(83.7%)	32.8	(13.7%)	2.9	(1.2%)	240.2	5.4
21 座喜味	6.3	(1.0%)	483.2	(80.2%)	107.1	(17.8%)	5.7	(0.9%)	602.2	10.1

時間帯別月平均騒音発生回数（普天間飛行場周辺）

(回/月)

測定地点\時間帯	N 1 (00時～07時)		N 2 (07時～19時)		N 3 (19時～22時)		N 4 (22時～24時)		終日	22時～06時
	回数	(比率)	回数	(比率)	回数	(比率)	回数	(比率)	回数	回数
1 野嵩	3.6	(0.5%)	568.2	(82.4%)	110.0	(15.9%)	8.2	(1.2%)	689.9	11.8
2 愛知	2.7	(0.7%)	295.1	(77.7%)	73.6	(19.4%)	8.4	(2.2%)	379.8	10.2
3 我如古	2.4	(0.7%)	275.3	(76.1%)	75.9	(21.0%)	8.3	(2.3%)	361.9	9.8
4 上大謝名	6.1	(0.6%)	793.2	(80.2%)	176.6	(17.9%)	13.4	(1.4%)	989.3	17.6
5 新城	4.5	(0.5%)	697.5	(80.0%)	157.3	(18.0%)	12.3	(1.4%)	871.7	15.0
6 宜野湾	5.6	(0.9%)	471.3	(79.5%)	105.5	(17.8%)	10.7	(1.8%)	593.0	13.7
7 真志喜	4.6	(0.7%)	495.5	(76.1%)	140.1	(21.5%)	11.3	(1.7%)	651.5	14.8
8 大山	13.1	(3.2%)	280.3	(69.3%)	98.7	(24.4%)	12.2	(3.0%)	404.2	24.0
9 荻道	2.6	(0.4%)	484.3	(83.6%)	85.1	(14.7%)	7.3	(1.3%)	579.3	9.4
10 大城	5.8	(0.9%)	558.3	(82.8%)	97.5	(14.5%)	12.9	(1.9%)	674.4	17.0
11 熱田	3.3	(0.7%)	387.0	(80.7%)	80.4	(16.8%)	8.6	(1.8%)	479.3	11.1
12 比屋根	2.9	(0.7%)	346.7	(81.8%)	66.9	(15.8%)	7.3	(1.7%)	423.8	9.5
13 牧港 [※]	6.1	(2.5%)	187.9	(79.0%)	35.6	(15.0%)	8.2	(3.4%)	237.7	11.2
14 当山	1.9	(0.6%)	250.5	(78.8%)	56.8	(17.9%)	8.6	(2.7%)	317.8	9.9
15 内間	5.1	(2.2%)	193.0	(84.4%)	28.2	(12.3%)	2.4	(1.1%)	228.7	6.8

※ 牧港局について、令和2年1月～2月分は機器不調による欠測のため集計に含めていない。

(8) 環境放射能調査結果の概要

ア 降水（定時採取雨水）

おおよその放射能レベルを簡易に、かつ、迅速に確認するため、毎日午前9時に降水採取容器を回収・設置し、前日の午前9時から当日の午前9時までの24時間に降った雨水中の全ベータ放射能濃度を調査しています。

令和元年度において、降雨量が0.5mm以上のときに採取した調査試料数は105試料であり、年間の全ベータ放射能濃度は検出限界以下となっています。

降水の全ベータ放射能濃度

採取場所：うるま市字兼箇段（定時採取量 0.5mm以上）

採取年月	測定数	降雨量 (mm)	最低値 (Bq/L)	最高値 (Bq/L)	降下量 (MBq/km ²)
平成31年 4月	9	178.5	N. D.	N. D.	N. D.
令和元年 5月	10	195.8	N. D.	N. D.	N. D.
6月	15	448.5	N. D.	N. D.	N. D.
7月	9	218.4	N. D.	N. D.	N. D.
8月	12	248.7	N. D.	N. D.	N. D.
9月	9	414.0	N. D.	N. D.	N. D.
10月	5	80.5	N. D.	N. D.	N. D.
11月	4	150.1	N. D.	N. D.	N. D.
12月	10	99.1	N. D.	N. D.	N. D.
令和2年 1月	7	26.2	N. D.	N. D.	N. D.
2月	4	32.6	N. D.	N. D.	N. D.
3月	11	136.2	N. D.	N. D.	N. D.

N. D. : 計測数値が計数誤差の3倍を下回るもの

降水の全ベータ放射能濃度の年度推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
降下量 (MBq/km ²)	4.2	1.3	1.5	N. D.	N. D.

N. D. : 計測数値が計数誤差の3倍を下回るもの

イ 降下物（雨、ちり）

屋外露出した大型水盤に1か月間の降下物（雨水、ちり）を捕集し、その降下物中に含まれる放射能濃度を調査しています。

降下物中に含まれる全ベータ放射能、ヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137 および天然放射性核種のカリウム-40の月間降下量及び年度推移は以下のとおりです。

令和元年度において、全ベータ放射能、ヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137 は検出されていません。また、すべての試料において人工放射性核種は検出されていません。

8 基地公害関係

降下物の全ベータ放射能、I-131、Cs-134、Cs-137、K-40

採取場所：うるま市勝連

採取年月	採取期間	日数	降雨量 (mm)	降下量 (MBq/km ²)				
				全ベータ	I-131	Cs-134	Cs-137	K-40
平成31年4月	04/01 ~ 05/07	36	245.0	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	1.0
令和元年5月	05/07 ~ 06/03	27	175.5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.6
6月	06/03 ~ 07/01	28	596.0	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	1.2
7月	07/01 ~ 08/01	31	159.5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	1.8
8月	08/01 ~ 09/02	32	243.5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	2.5
9月	09/02 ~ 10/01	29	243.5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	11
10月	10/01 ~ 11/01	31	64.0	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.91
11月	11/01 ~ 12/02	31	128.5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	1
12月	12/02 ~ 01/06	35	101.0	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	1.0
令和2年1月	01/06 ~ 02/03	28	20.5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.93
2月	02/03 ~ 03/02	28	16.0	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	1.1
3月	03/02 ~ 04/01	30	146.5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.8

N.D.：計測数値が計数誤差の3倍を下回るもの

降下物の全ベータ放射能、I-131、Cs-134、Cs-137、K-40の年度推移（年間累積値）

	(単位：MBq/km ²)				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全ベータ	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
I-131	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Cs-134	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Cs-137	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
K-40	26	11	23	58	24

N.D.：計測数値が計数誤差の3倍を下回るもの

ウ 上水、農産物、土壌

(7) 上水（水道蛇口水）

上水は年1回、夏季（6月ごろ）に水道蛇口水より採取し、機器分析によるヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137及び天然放射性核種のカリウム-40を調査しています。

上水中のヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137濃度は検出限界以下となっています。

(4) 農産物

人参、キャベツ、米及び牛乳に含まれるヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137濃度は、全試料とも検出限界以下となっています。

(5) 土壌

土壌中のセシウム-137濃度は、那覇市の土壌（草地）では表層部（0～5cm）で3.3Bq/kg乾土、深層部（5～20cm）で3.1Bq/kg乾土検出され、平成23年3月の福島第一原子力発電所事故以前と同等のレベルです。一方、うるま市の土壌（未耕土）では、前年度と同様、共に検出限界以下となっています。

上水、農産物、土壌の核種分析結果

試料名	採取地	試料数	I-131	Cs-134	Cs-137	K-40	単位	
上水（蛇口水）	那覇市	1	N. D.	N. D.	N. D.	43	mBq/L	
米	精米	名護市	1	N. D.	N. D.	23	Bq/kg生	
野菜	人参	うるま市	1	N. D.	N. D.	74	Bq/kg生	
	キャベツ	うるま市	1	N. D.	N. D.	63	Bq/kg生	
牛乳	原乳	浦添市	1	N. D.	N. D.	47.3	Bq/kg生	
土壌	(0～5cm)	那覇市	1	N. D.	N. D.	3.3	500	Bq/kg乾土
	(5～20cm)		1	N. D.	N. D.	3.1	480	Bq/kg乾土
	(0～5cm)	うるま市	1	N. D.	N. D.	N. D.	400	Bq/kg乾土
	(5～20cm)		1	N. D.	N. D.	N. D.	440	Bq/kg乾土

N. D. : 計測数値が計数誤差の3倍を下回るもの

エ 海水、海底土

(7) 海水

海水中のヨウ素-131、セシウム-134 およびセシウム-137 濃度は、検出限界以下となっています。

(4) 海底土

海底土中のヨウ素-131、セシウム-134 およびセシウム-137 濃度は、検出限界以下となっています。

海水、海底土の核種分析結果

試料名	採取地	試料数	I-131	Cs-134	Cs-137	K-40	単位
海水	金武中城湾	1	N. D.	N. D.	N. D.	12,000	mBq/L
海底土	金武中城湾	1	N. D.	N. D.	N. D.	88	Bq/kg乾土

N. D. : 計測数値が計数誤差の3倍を下回るもの

オ 空間放射線量

外部からの放射線による人体への影響を評価し、外部被曝線量を推定することを目的として、モニタリングポストによる空間中の放射線量率の測定を行っています。県内各地域における空間放射線量率の測定を強化するため、平成24年度から、モニタリングポスト3局を新設し、既設局と合わせて4局体制（地域バランスを考慮し、北部（名護市）・中部（うるま市）・南部（那覇市）・離島（石垣市）に配置）で、常時監視しています。

モニタリングポストにおける空間放射線量率は、うるま市：20～49nGy/h、那覇市：15～71nGy/h、名護市：24～56nGy/h、石垣市：14～40nGy/hの範囲となっています。なお、従来から測定を継続しているうるま市の測定結果は、平成23年3月の福島第一原子力発電所事故以前と同等の放射線レベルとなっています。

8 基地公害関係

モニタリングポストによる空間線量率

(単位：nGy/h)

測定年月	うるま市			那覇市			名護市			石垣市		
	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値
平成31年4月	21	36	22	43	59	44	24	45	26	14	37	15
令和元年5月	21	43	22	43	71	44	25	45	26	14	30	15
6月	20	38	22	42	64	44	24	56	27	14	24	15
7月	21	38	22	42	65	44	24	29	25	14	23	15
8月	20	49	22	42	58	44	24	47	26	14	36	15
9月	21	33	22	42	69	44	24	40	26	14	22	15
10月	20	25	22	43	55	44	24	38	26	15	25	15
11月	20	27	22	15	62	43	24	50	26	15	22	16
12月	20	45	22	43	70	44	25	49	26	15	40	16
令和2年1月	21	28	22	43	54	44	25	42	26	15	33	16
2月	21	27	22	43	61	44	25	39	26	15	32	15
3月	20	38	22	43	69	45	24	44	26	15	32	16

モニタリングポストによる空間線量率（年平均値）の年度推移

(単位：nGy/h)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
うるま市	22	23	23	22	22
那覇市	44	44	44	44	44
名護市	26	25	26	26	26
石垣市	16	15	15	16	15

9 廃棄物関係

(1) 粗大ごみ処理施設整備状況

令和2年3月末現在

実施主体	構成市町村	規模 (t/日)	処理 方式	総事業費 (千円)	着工年月	竣工年月	備考
1 倉浜衛生施設組合	沖縄市、宜野湾市、北谷町	7	選別	—	H19.3	H22.3	リサイクルサ を含む
2 浦添市	浦添市	25	破碎	2,349,961	S55.9	S57.12	
3 比謝川行政事務組合	嘉手納町、読谷村	13	併用	666,672	H7.2	H10.3	
4 本部町今帰仁村清掃 施設組合	本部町、今帰仁村	15	併用	330,969	H7.9	H10.3	
5 南部広域行政組合	糸満市、豊見城市	30	併用	1,862,782	H7.12	H10.3	
6 名護市	名護市	5	併用	426,570	H10.10	H11.3	
7 那覇市・南風原町 環境施設組合	那覇市、南風原町	39	併用	2,513,355	H14.8	H18.3	
合計	13市町村	134		8,150,309			

※ 処理方式の併用とは、粗大ごみの破碎と圧縮の両方の処理を行うこと。

(2) 一般廃棄物最終処分場整備状況

令和2年3月末現在

実施主体	構成市町村	埋立 開始 年月	終了 予定 年月	埋立面積 (m ²)	埋立容量 (m ³)	平成30年度末		総事業費 (千円)
						残余容量(m ³)	残余年数(推計)	
1 比謝川行政事務組合	読谷村、嘉手納町	H20.4	R5.3	15,650	155,000	31,985	26.9	1,436,820
2 恩納村	恩納村、うるま市	H3.5	H24.3	12,300	100,000	36,531	21.2	583,220
3 伊江村	伊江村	H3.4	H24.3	25,382	72,400	44,819	146.5	160,734
4 宮古島市	宮古島市	H6.6	H26.3	10,600	81,000	28,089	351.1	893,114
5 名護市	名護市	H7.4	H22.3	20,000	185,000	5,445	11.4	1,148,470
6 倉浜衛生施設組合	沖縄市、宜野湾市、 北谷町	H9.2	H24.3	38,000	400,000	204,207	46.4	2,738,582
7 宮古島市	宮古島市	H9.3	H30.3	7,000	52,000	7,897	3.3	906,400
8 石垣市	石垣市	H11.2	H27.3	15,200	140,000	18,255	4.4	2,224,183
9 栗国村	栗国村	H11.3	H28.3	6,000	15,000	7,250	362.5	580,670
10 渡嘉敷村	渡嘉敷村	H14.2	R5.3	3,000	15,000	13,058	123.2	466,917
11 多良間村	多良間村	H14.7	R5.3	3,000	10,000	9,057	95.3	503,214
12 久米島町	久米島町	H16.3	R6.3	5,000	25,000	14,673	14.7	905,829
13 国頭地区行政事務組合	国頭村、東村、大宜味村	H18.4	R8.3	7,200	45,000	31,377	21.5	1,214,621
14 竹富町	竹富町	H18.4	R3.3	4,300	22,000	18,957	76.1	637,539
15 伊是名村	伊是名村	H18.11	R4.3	2,500	11,000	10,149	85.3	416,684
16 与那国町	与那国町	H19.4	R9.3	3,000	11,000	5,485	9.4	711,505
17 那覇市・南風原町 環境施設組合	那覇市、南風原町	H19.4	R3.3	13,000	107,000	48,014	12.1	4,338,657
18 本部町・今帰仁村 清掃施設組合	本部町・今帰仁村	H21.4	R5.3	8,800	67,000	57,246	60.1	1,545,206
19 北大東村	北大東村	H21.2	R11.2	900	2,000	1,041	10.7	291,689
20 南大東村	南大東村	H22.3	R7.3	1,406	4,500	521	13.9	627,430
21 南部広域行政組合	糸満市、豊見城市、八重瀬 町、与那原町、西原町	H30.9	R15.8	10,870	94,000	91,109	1.0	5,700,000
合計	33市町村			213,108	1,613,900	685,166	5.8	28,031,484

9 廃棄物関係

(3) 廃棄物再生利用施設整備状況

令和2年3月末現在							
	実施主体	構成市町村	施設規模	総事業費 (千円)	着工年月	竣工年月	備考
	リサイクルプラザ						
1	那覇市	那覇市	53 t/8h	1,869,900	H6.2	H7.3	H20-23に拡充整備（総事業費1,286,709千円）
2	浦添市	浦添市	40 t/5h	3,515,978	H9.11	H11.3	
3	中城村北中城村 清掃事務組合	中城村、北中城村	9 t/5h	—	H12.12	H15.5	総事業費はごみ処理施設に含む（防衛施設庁予算）
4	中部北環境施設組合	うるま市、恩納村	57 t/5h	3,163,983	H14.2	H16.3	
5	倉浜衛生施設組合	沖縄市、宜野湾市、北谷町	82 t/5h	2,582,873	H19.3	H22.3	
6	宮古島市	宮古島市	—	—	H31.1	R2.3	総事業費はリササるセンターに含む
	小 計	10市村	241 t/日	11,132,734			
	リサイクルセンター						
1	渡嘉敷村	渡嘉敷村	1 t/日	169,845	H12.9	H14.3	
2	多良間村	多良間村	1 t/日	175,486	H12.9	H14.3	
3	伊江村	伊江村	1 t/日	—	H14.10	H16.2	総事業費はごみ処理施設に含む（防衛施設庁予算）
4	久米島町	久米島町	3 t/日	439,517	H15.1	H16.3	
5	国頭地区行政事務組合	国頭村、東村、大宜味村	4.8 t/日	544,339	H16.10	H18.3	
6	竹富町	竹富町	1.4 t/日	354,900	H16.11	H18.2	
7	与那国町	与那国町	1 t/日	416,120	H17.3	H18.11	
8	宮古島市（伊良部島）	宮古島市	1 t/日	213,691	H19.9	H20.3	
9	伊是名村	伊是名村	1 t/日	75,470	H22.7	H24.1	
10	宮古島市	宮古島市	11 t/日	3,435,341	H28.9	H30.3	
	小 計	11町村	26.2 t/日	5,824,709			
	ストックヤード						
1	石垣市	石垣市	576 m ²	107,520	H9.11	H10.3	
2	渡嘉敷村	渡嘉敷村	200 m ²	49,936	H10.10	H11.3	
3	糸満市	糸満市	631 m ²	104,749	H11.11	H12.3	
4	南部広域行政組合	南城市（旧：知念村、玉城村、大里村）、八重瀬町	612 m ²	145,569	H12.3	H12.8	
5	多良間村	多良間村	234 m ²	54,295	H13.8	H14.3	
6	北大東村	北大東村	150 m ²	46,515	H14.4	H14.8	
7	国頭地区行政事務組合	国頭村、東村、大宜味村	450 m ²	81,375	H16.10	H18.3	
8	本部町今帰仁村清掃施設組合	本部町、今帰仁村	600 m ²	265,900	H18.2	H19.1	
9	中部北環境施設組合 （うるま市宇栄野比地内）	うるま市、恩納村	150 m ²	186,060	H19.8	H20.3	
10	倉浜衛生施設組合	沖縄市、宜野湾市、北谷町	1700 m ²	273,803	H21.6	H22.1	
11	中部北環境施設組合 （うるま市石川伊波地内）	うるま市、恩納村	150 m ²	199,448	H21.7	H22.3	
12	那覇市	那覇市	300 m ²	33,942	H21.10	H23.2	
13	中部北環境施設組合 （うるま市勝連内間地内）	うるま市、恩納村	150 m ²	194,355	H23.7	H24.3	
	小 計	18市町村	5,903 m ²	1,743,467			
	合 計	27市町村		18,700,910			

(4) し尿処理施設整備状況

令和2年3月末現在

実施主体	構成市町村	規模 (kL/日)	処理方式	総事業費 (千円)	着工年月	竣工年月	平30年度 処理実績 (kL/年)
1 石垣市	石垣市	25	嫌消	80,317	昭46.6	昭47.6	15,081
2 名護市	名護市、国頭村(委託)、 東村(委託)、 大宜味村(委託)	40	二段活	115,997	昭47.8	昭48.3	16,222
3 本部町今帰仁村 清掃施設組合	本部町、今帰仁村	35	〃	579,180	昭49.9	昭50.5	9,007
4 倉浜衛生施設組合	沖縄市、宜野湾市、北谷 町	130	〃	1,293,000	昭51.3	昭52.2	7,864
5 中部衛生施設組合	うるま市、嘉手納町、 読谷村、恩納村(事業分)	80	二段活 (低希釈)	850,345	昭53.3	昭55.6	23,293
6 南部広域行政組合 (旧糸満市豊見城市清掃施設組合)	糸満市、豊見城市	65	〃	998,496	昭55.12	昭57.3	12,003
7 南部広域行政組合 (旧島尻消防清掃組合)	八重瀬町	30	〃	893,464	昭61.2	昭62.9	11,261
8 南部広域行政組合 (旧東部清掃施設組合)	与那原町、西原町、南城 市、南風原町、中城村、 北中城村	107	固液分離・希 釈方式	1,263,134	平成24.12	平成26.12	17,511
9 多良間村	多良間村	3	二段活 (低希釈)	83,000	昭57.11	昭58.3	256
10 北大東村	北大東村	1	好消	319,572	平成27.7	平成28.9	-
合 計	25	516		6,476,505			112,498

10 自然環境関係

(1) 自然環境保全基礎調査一覧

	年 度	調 査 内 容 等	
第1回	S48	現存植生と植生自然度	
第2回	53~54	現存植生(沖縄島北部地域、八重山諸島)	
		特定植物群落(県下101の貴重な又は代表的な群落)	
第3回	58	動物分布調査 (哺乳類:シカ・イノシシ、淡水魚:タナゴモドキ、昆虫類、両生類、爬虫類分布)	
		海域生物環境調査(サンゴ礁・藻場・干潟分布)	
		現存植生調査(沖縄島中南部地域・久米島・慶良間列島・南北大東島)	
		現存植生調査(宮古島・伊良部島・多良間島)	
		特定植物群落調査(追加調査35ヶ所)	
		海域生物環境調査	
		現存植生調査(硫黄島・粟国島)	
		特定植物群落調査(第2回調査で調査した全群落のフォロー調査)	
第4回	2	海域生物環境調査	
		現存植生調査(魚釣島)	
		特定植物群落調査(追加調査29ヶ所、生育状況調査8ヶ所)	
		自然景観資源調査(沖縄県全域)	
		巨樹・巨木林調査(沖縄全域)	
		H元	藻場・干潟調査(沖縄全域)
		2	サンゴ礁調査(沖縄島)
		3	サンゴ礁調査(八重山諸島)
			湖沼調査(南大東島:大池)
		4	生態系総合モニタリング調査(恩納村、名護市)
サンゴ礁調査(宮古諸島及び沖縄島周辺離島)			
河川調査(西表島:仲間川・仲良川)			
植生調査(植生図修正補完調査)			
第5回	5	生態系総合モニタリング調査(詳細調査)	
		湿地調査(沖縄県全域)	
		動植物分布調査(沖縄県全域)	
		種の多様性調査(八重山地域)	
		種の多様性調査(宮古地域)	
		種の多様性調査(沖縄島北部地域)	
		生態系総合モニタリング調査	
9	海辺調査		
	種の多様性調査(本島中南部):動植物の分布調査		
	生態系総合モニタリング調査:経年変化状況調査		
	植生調査:第4回調査の追跡調査		
10	特定植物群落調査:第3回調査の追跡調査		
	種の多様性調査(伊平屋、伊是名、伊江、慶良間、久米島)		
	特定植物群落調査:第3回調査の追跡調査		
第6回	11	河川調査:第4回調査の追跡調査	
		種の多様性調査(国頭村、沖縄島周辺諸島)	
		海棲動物調査(ウミガメ生息調査)(沖縄県全域)	
		種の多様性調査(沖縄全域)	
		哺乳類分布調査(シカ、イノシシ、マングース)(沖縄県全域)	
13	種の多様性調査(沖縄全域)		
	哺乳類分布調査(シカ、イノシシ、マングース)(沖縄県全域)		
14	種の多様性調査		
	哺乳類分布調査(シカ、イノシシ、マングース補完調査)(沖縄県全域)		
	種の多様性調査		
第7回	15	哺乳類分布調査(シカ、イノシシ、マングース補完調査)(沖縄県全域)	
		植生調査	
		浅海域調査(藻場・干潟)	
		種の多様性調査	
		生物多様性地域調査	
		モニタリングサイト1000	
		17	植生調査
18	生態系多様性調査(浅海域生態系調査)		
	モニタリングサイト1000		
19	植生調査		
	生態系多様性調査(アライグマ生息情報収集)		
	モニタリングサイト1000		
20	植生調査		
	浅海域生態系調査(干潟)		
	モニタリングサイト1000		
21	生物多様性調査		
	植生調査		
20	21	浅海域生態系調査(藻場)	
		モニタリングサイト1000	
21	21	生物多様性調査	
		植生調査	

(2) 沖縄県自然環境保全地域の概要

沖縄県自然環境保全地域

(令和2年3月31日現在)

地域名	位置	面積 (ヘクタール)			自然環境の特性	指定年月日
		特別地区	普通地区	計		
久部良岳自然環境保全地域	与那国町	13.21	117.04	130.25	ビロウ林がよく発達し、与那国島固有の群落である。また、与那国の動物の主要生息地である。	昭和55年10月6日
宇良部岳自然環境保全地域		46.98	168.27	215.25	山頂部にはウラジロガシの優占する林分があり、山頂部から南側傾斜面にかけてはイタジイ林が発達し、サンニヌ台から新川鼻にかけては、地形、地質、植生の上から極めて複雑な様相を呈している。	〃
東崎自然環境保全地域		—	43.57	43.57	隆起サンゴ礁に発達するコウライシバーソナレムグラ群集及び未風化の砂岩の平坦地によく発達するコウライシバーシマニシキソウ群集がみられる。	〃
比川地先自然環境保全地域		2.30	—	2.30	この地域は標高1mにあり、大潮時には一部冠水する凹凸のはげしい隆起サンゴ礁からなりたっている。常時海風をうけるミズガンピ群集は、風圧を直接うけているため、樹冠はかり込まれたような奇観を呈している。	〃
田名の久葉山自然環境保全地域	伊平屋村	13.06	16.00	29.06	北側斜面には風衝植生が発達し、南側斜面はビロウの単純林で占められ、特異の景観を呈している。	〃
後岳自然環境保全地域		—	109.91	109.91	伊平屋島の山は、タンナ山、後岳、アサ岳、腰岳、賀陽山、阿波岳と連なっており、山麓部から中腹にかけて、尾根部や稜線に沿ってリュウキュウマツが優占している。これらの山々は一体となって島を保全する上で重要な役割を果たしている。	
腰岳自然環境保全地域		6.84	56.43	63.27		
賀陽山自然環境保全地域		—	94.46	94.46		
阿波岳自然環境保全地域	—	53.16	53.16			
伊是名山自然環境保全地域	伊是名村	4.15	49.25	53.40	リュウキュウマツの純林、ウバメガシの純林が発達している。	〃
嘉津宇岳・安和岳・八重岳自然環境保全地域	名護市	68.07	88.09	156.16	イスノキの優占する天然林、ヒナカンアオイ、カツウダケカンアオイ等の固有種がみられる。	平成元年3月3日
合計		154.61	796.18	950.79		

自然環境保全地域 (国指定)

(令和2年3月31日現在)

地域名	位置	面積 (ヘクタール)			自然環境の特性	指定年月日
		特別地区	普通地区	計		
崎山湾・網取湾自然環境保全地域	竹富町	1,077	—	1,077	本地域はミドリイシ類をはじめとする他種のサンゴからなるサンゴ群集が発達し、湾内の深みにはアミトリセンベイサンゴの大規模な群集が存在するなど、豊富な海中生物相を有している。	平成27年2月17日

(3) 温泉利用状況

(令和2年3月31日現在)

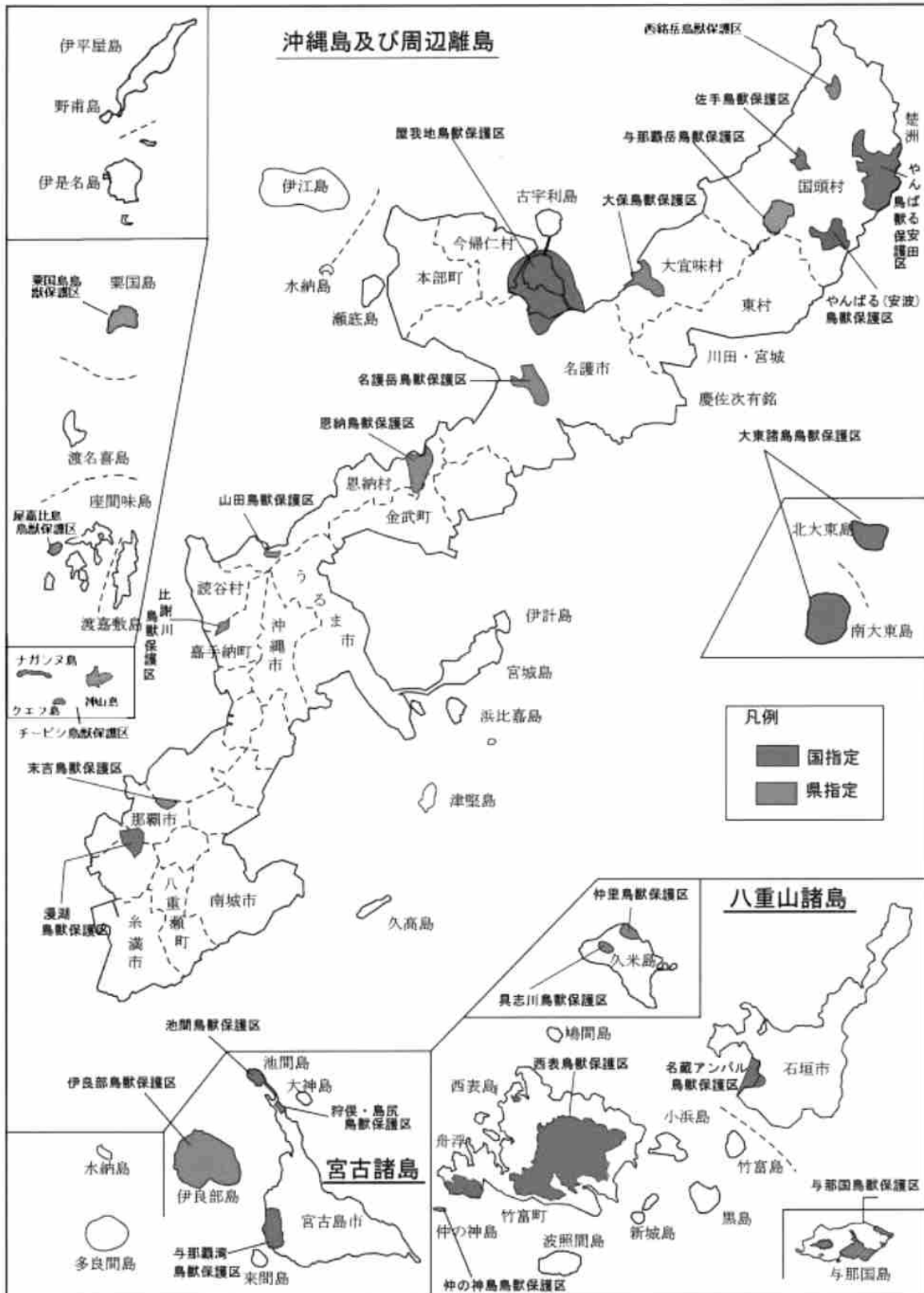
管轄保健所名	市町村名	源泉総数 (A+B)	利用源泉数 (A)		未利用源泉数 (B)		温度別源泉数				湧出量L/分		宿泊施設数	収容定員 (人)	年度延 宿泊利 用人員 (人)	温泉利 用の公 衆浴場 施設	主たる 泉質名
			自噴	動力	自噴	動力	25℃未満	25℃以上 42℃未満	42℃以上	水蒸気 及びびが ス	自噴	動力					
北部保健所	本部町	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	210	1	891	151,290	1	ナトリウム塩化物強塩泉
	恩納村	1	1	-	-	1	-	-	-	200	-	-	1	1,138	178,393	1	含硫黄ナトリウム塩化物 炭酸水泉
	恩納村	1	-	1	-	-	1	-	-	-	198	-	1	653	238,373	1	ナトリウム塩化物泉
	恩納村	1	-	1	-	-	1	-	-	-	175	-	2	1,161	109,401	2	単純温泉
中部保健所	宜野湾市	1	1	-	-	-	1	-	-	1,000	-	-	-	-	-	1	ナトリウム塩化物泉
	北谷町	1	-	1	-	-	1	-	-	-	326	-	-	-	-	1	ナトリウム炭酸水素塩泉
	北谷町	1	-	1	-	-	1	-	-	-	260	-	1	616	6,300	1	単純温泉
	うるま市	1	-	1	-	-	1	-	-	-	78	-	-	-	-	1	ナトリウム炭酸水素塩泉
	うるま市	1	-	1	-	-	-	1	-	-	180	-	1	376	47,808	2	ナトリウム塩化物強塩泉
	金武町	1	-	1	-	-	1	-	-	-	400	-	-	-	-	2	ナトリウム塩化物強塩泉
那覇保健所	那覇市	1	-	1	-	-	1	-	-	-	20	1	518	107,993	1	ナトリウム塩化物泉	
	那覇市	1	1	-	-	-	1	-	-	420	-	2	2,195	250,240	2	含ヨウ素塩化物泉	
	浦添市	1	-	1	-	-	-	1	-	300	-	-	-	-	1	ナトリウム塩化物泉	
南部保健所	南城市	1	-	1	-	-	-	1	-	-	136	2	597	160,113	3	ナトリウム塩化物泉	
	豊見城市	1	-	1	-	-	-	1	-	-	339	1	200	68,297	2	ナトリウム塩化物強塩泉	
	宮古島市	1	-	1	-	-	-	1	-	-	300	-	-	-	2	ナトリウム塩化物泉	
宮古保健所	宮古島市	1	-	1	-	-	-	1	-	-	450	-	-	-	1	ナトリウム塩化物泉	
	宮古島市	1	-	1	-	-	-	1	-	-	238	-	-	-	1	ナトリウム塩化物泉	
八重山保健所	竹富町	1	-	1	-	-	1	-	-	-	3	1	128	12,482	1	単純温泉	
	合計	19	3	16	0	0	1	11	7	0	1,920	14	8,473	1,330,690	27		

(4) 特殊鳥類等生息環境調査

年度	調査区域	調査内容
2	伊湯岳・玉辻山周辺	
3	米軍演習地域	
4	沖縄島北部地域	これまでの調査結果の解析及び保護のあり方について検討
5	沖縄島	湿地・干潟に生息、飛来する渡り鳥等の生息分布、生息密度、生息環境及び植生等の調査
6	宮古諸島	
7	八重山諸島	
8	南北大東、伊平屋久米島	
9	沖縄全域	これまでの調査結果の検討
10, 11	沖縄島北部地域	マングースの生息、捕獲方法の調査
12	沖縄島北部地域	ヤンバルクイナの生息状況調査
14	沖縄島北部地域	ホントウアカヒゲの生息実態調査
15	宮古島	外来種のクジャクの調査
16, 17	沖縄島北部地域	ヤンバルクイナの生息実態調査 ヤンバルクイナのロードキル多発地点周辺環境状況等調査
18	沖縄島北部地域	カラスの生息実態調査
19	沖縄島北部地域	ホントウアカヒゲの生息実態調査
20	宮古島	インドクジャクの分布状況調査
21	沖縄全域	侵略的外来種の侵入状況調査
22	沖縄島北部地域	与那覇岳及びその周辺における侵略的外来種の侵入状況調査
23	栗国村、渡嘉敷村、豊見城市	県指定新規鳥獣保護区候補地における鳥類の生息状況調査
24	恩納村、座間味村	沖縄県指定山田鳥獣保護区及び沖縄県指定屋嘉比島鳥獣保護区における鳥獣の生息状況調査
25	宮古島市、久米島町	沖縄県指定狩俣・島尻、仲里、具志川の各鳥獣保護区における鳥獣の生息状況調査
26	国頭村	沖縄県指定西銘岳、佐手、与那覇岳の各鳥獣保護区における鳥獣の生息状況調査
27	渡嘉敷村	沖縄県指定チービス鳥獣保護区におけるアジサシ類の飛来状況調査
28	渡嘉敷村	沖縄県指定チービス鳥獣保護区におけるアジサシ類の飛来状況調査、沖縄本島北部地域における小型コウモリおよび鳥類調査
29	八重瀬町	県指定新規鳥獣保護区候補地における鳥獣類の生息状況調査
30	八重瀬町	県指定新規鳥獣保護区候補地における鳥獣類の生息状況調査

(5) 鳥獣保護区位置図

沖縄県内の鳥獣保護区



(6) 国指定及び県指定鳥獣保護区

鳥獣保護区の指定状況															
(R2.3.31現在)															
種別	名称	所在地	鳥獣保護区					特別保護地区							
			面積(ヘクタール)					期間	面積(ヘクタール)					期間	
			国有地	公有地	私有地	水面	計		国有地	公有地	私有地	水面	計		
県指定	森林鳥獣生息地	1 仲里	久米島町		120	125		245	H27.11.15 R17.11.14						0
		2 大保	大宜味村			65	175	240	H16.11.1 R6.10.31						0
		3 名護岳	名護市		357	14		371	H27.11.1 R17.10.31		207			207	H27.11.1 R17.10.31
		4 恩納	恩納村		295	163		458	H27.11.15 R17.11.14						0
		5 山田	恩納村	5	154	27		186	H27.11.15 R17.11.14						0
		6 比謝川	嘉手納町		4	2	2	8	H18.9.26 R8.9.25		4	2	2	8	H18.10.3 R8.10.2
		7 具志川	久米島町		290			290	H27.11.15 R17.11.14		9				9
	小計			5	1,220	396	177	1,798	7カ所	0	220	2	2	224	3カ所
	集団渡来地	8 伊良部	宮古島市	2	1,199	2,717	933	4,851	H26.11.1 R16.10.31						0
		9 粟国島	粟国村		44	720		764	H24.11.1 R14.10.31		0.4			0.4	H24.11.1 R14.10.31
		小計		2	1,243	3,437	933	5,615	2カ所	0	0		0	0	1カ所
	集団繁殖地	10 チーピシ	渡嘉敷村		62			62	H24.11.1 R14.10.31		19			19	H24.11.1 R14.10.31
		小計			62	0	0	62	1カ所	19	0	0	19	1カ所	
		希少な鳥獣生息地	11 狩俣・鳥尻	宮古島市			125	75	200	H27.11.15 R17.11.14					
	12 末吉那覇		那覇市		18		1	19	H18.9.26 R8.9.25		18		1	19	H18.9.26 R8.9.25
	小計			0	18	125	76	219	2カ所	0	18	0	1	19	1カ所
希少鳥獣生息地	13 屋嘉比島	座間味村		129			129	H26.11.1 R16.10.31		129			129	H26.11.1 R16.10.31	
	14 西銘岳	国頭村	30	54			84	H27.11.1 R17.10.31	30				30	H27.11.1 R17.10.31	
	15 佐手	国頭村	58	70	30		158	H27.11.1 R17.10.31	58				58	H27.11.1 R17.10.31	
	16 与那覇岳	国頭村		647	19		666	H27.11.1 R17.10.31		23			23	H27.11.1 R17.10.31	
	小計		88	900	49	0	1,037	4カ所	88	152	0	0	240	4カ所	
県指定合計			95	3,443	4,007	1,186	8,731	16カ所	88	409	2	3	502	10カ所	
国指定	集団渡来地	1 屋我地	名護市 今帰仁村	63	149	877	2,128	3,217	H28.11.1 R8.10.31			4	997	1,001	H28.11.1 R8.10.31
		2 漫湖	那覇市 豊見城市	1	39	76	58	174	H19.11.1 R9.10.31				58	58	H19.11.1 R9.10.31
		3 与那覇湾	宮古島市	3	100	540	723	1,366	H23.11.1 R13.10.31		1	4	699	704	H23.11.1 R13.10.31
	小計		67	288	1,493	2,909	4,757	3カ所	0	1	8	1,754	1,763	3カ所	
	集団繁殖地	4 仲の神島	竹富町	18				18	H30.11.1 R20.10.31	18				18	H30.11.1 R20.10.31
		5 池間	宮古島市		25	249	8	282	H23.11.1 R13.10.31					0	
		小計		18	25	249	8	300	2カ所	18	0	0	0	18	1カ所
	希少鳥獣生息地	6 与那国	与那国町		878	155	7	1,040	H22.11.1 R12.10.31		59	4		63	H22.11.1 R12.10.31
		7 西表	竹富町	10,218				10,218	H23.11.1 R13.10.31	9,999				9,999	H23.11.1 R13.10.31
		8 名蔵アンバル	石垣市		8	151	986	1,145	H15.11.1 R5.10.31		3	94	60	157	H16.11.1 R5.10.31
		9 大東諸島	南大東村 北大東村	13	1,661	2,577		4,251	H16.11.1 R6.10.31	3	231			234	H16.11.1 R6.10.31
10 やんばる(安田)		国頭村	283	666	330		1,279	H21.11.1 R11.10.31	220				220	H21.11.1 R11.10.31	
11 やんばる(安波)		国頭村		405	23	37	465	H21.11.1 R11.10.31					0		
小計		10,514	3,618	3,236	1,030	18,398	6カ所	10,222	293	98	60	10,673	5カ所		
国指定合計			10,599	3,931	4,978	3,947	23,455	11カ所	10,240	294	106	1,814	12,454	9カ所	
沖縄県合計			10,694	7,374	8,985	5,133	32,186	27カ所	10,328	703	108	1,817	12,956	19カ所	

10 自然環境関係

(7) 傷病鳥獣救護事業実績

(令和2年3月31日現在)

種別 年度別	収 受 数 量	放 鳥 獣	死 亡	救 護 中
H 27	547	153	263	50
H 28	541	132	309	64
H 29	583	162	297	70
H 30	586	194	296	81
R 1	495	173	242	66

※救護施設として、日本野鳥の会やんばる支部、沖縄県動物愛護管理センター、宮古野鳥の会、NPO 法人どうぶつたちの病院、カムリワシリサーチが鳥獣救護を実施している。

※令和2年3月現在、県内17名の野生動物ドクターを認定している。

(8) 鳥獣保護管理員の配置状況

(令和2年3月31日現在)

地域別	員数(人)	期間
北 部 地 域	9	1 力年以内
中 ・ 南 部 地 域	15	〃
宮 古 地 域	4	〃
八 重 山 地 域	8	〃
計	36	

(9) 野生鳥獣飼養登録状況

(令和2年3月31日現在)

種別 年度	メジロ	ウグイス	合計
H 27	325	0	325
H 28	284	0	284
H 29	248	0	248
H 30	213	0	213
R 1	194	0	194

(10) 沖縄県内に生息する国内希少野生動植物種 (122 種)

＜動物＞					(令和2年3月現在)
No.	種名または亜種名	類	科名	主な生息地	
1	(ヘラシギ)	鳥類	シギ科	沖縄島(放鳥)	
2	(アマミヤマシギ)	鳥類	シギ科	奄美大島、徳之島、沖縄島北部、渡嘉敷島、久米島、阿嘉島	
3	(コウノトリ)	鳥類	コウノトリ科	ロシア極東南部のウスリー地方、アムール、中国東北部、沖縄諸島、宮古・八重山諸島、与那国島	
4	(クロツラヘラサギ)	鳥類	トキ科	朝鮮半島西北部と中国東北部で繁殖し、朝鮮半島南西部、日本、中国(台湾・香港)、ベトナムなどで越冬する。日本では九州と沖縄が主要な渡来地とされる。	
5	(キンノボ)	鳥類	ハト科	インドから東南アジア、台湾、南西諸島南部、先島諸島	
6	(ヨナグニカラスバト)	鳥類	ハト科	八重山諸島(石垣島、西表島、与那国島)と宮古諸島	
7	(チュウヒ)	鳥類	タカ科	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、小浜島、与那国島(迷鳥)	
8	(カンムリワシ)	鳥類	タカ科	西表島、石垣島	
9	(ハヤブサ)	鳥類	ハヤブサ科	東シベリアからオホーツク湾沿岸、カムチャツカ、サハリン、朝鮮半島等(県内では冬鳥)	
10	(ヤンバルクイナ)	鳥類	クイナ科	沖縄島北部やんばる地域(国頭村、大宜味村、東村)	
11	(アカヒゲ)	鳥類	ヒタキ科	男女群島やトカラ列島、奄美諸島とその周辺島嶼。県内では冬期に宮古諸島や八重山諸島の石垣島、西	
12	(ホトウアカヒゲ)	鳥類	ヒタキ科	沖縄島北部	
13	(オオヨシゴイ)	鳥類	サギ科	沖縄島、座間味島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島、南大東島	
14	(ノグチゲラ)	鳥類	キツツキ科	沖縄島北部(固有)	
15	(アホウドリ)	鳥類	アホウドリ科	伊豆諸島鳥島と尖閣諸島南小島、北小島	
16	(ケナガネズミ)	哺乳類	ネズミ科	沖縄島北部のみ、奄美大島、徳之島	
17	(オキナワトゲネズミ)	哺乳類	ネズミ科	沖縄島北部のみ	
18	(イリオモチヤマネコ)	哺乳類	ネコ科	西表島のみ	
19	(ダイウオコウモリ)	哺乳類	オオコウモリ科	南大東島、北大東島	
20	(オキナワクキウモリ)	哺乳類	キウモリ科	沖縄島、久米島、渡嘉敷島、伊平屋島、宮城島	
21	(リュウキュウユビナガコウモリ)	哺乳類	ヒナコウモリ科	奄美諸島、沖縄島、久米島、石垣島、西表島	
22	(リュウキュウテングコウモリ)	哺乳類	ヒナコウモリ科	沖縄島北部、奄美大島、徳之島	
23	(ヤンバルホオヒゲコウモリ)	哺乳類	ヒナコウモリ科	沖縄島、徳之島、奄美大島。沖縄島では北部のいわゆるやんばるの森。	
24	(クワイトカゲモドキ)	爬虫類	トカゲモドキ科	沖縄島、瀬底島、古宇利島、屋我地島	
25	(マダラトカゲモドキ)	爬虫類	トカゲモドキ科	渡嘉敷島、阿嘉島、渡名喜島、伊江島	
26	(ケラトカゲモドキ)	爬虫類	トカゲモドキ科	渡嘉敷島、阿嘉島	
27	(イヘヤトカゲモドキ)	爬虫類	トカゲモドキ科	伊平屋島(固有種)	
28	(クメトカゲモドキ)	爬虫類	トカゲモドキ科	久米島(固有種)	
29	(サキシマカナヘビ)	爬虫類	カナヘビ科	石垣島、西表島、黒島、小浜島	
30	(ミヤコカナヘビ)	爬虫類	カナヘビ科	宮古島、池間島、大神島、伊良部島、下地島、来間島(宮古諸島固有)	
31	(ミヤコヒバ)	爬虫類	ナミヘビ科	宮古諸島の宮古島、伊良部島	
32	(キクザトサウヘビ)	爬虫類	ナミヘビ科	久米島(固有種)	
33	(リュウキュウヤマガメ)	爬虫類	イシガメ科	沖縄島北部(恩納村、石川市以北)、渡嘉敷島、久米島	
34	(ホルストガエル)	両生類	アカガエル科	沖縄島北部、渡嘉敷島	
35	(ナミエガエル)	両生類	アカガエル科	沖縄島北部	
36	(オキナワシカワガエル)	両生類	アカガエル科	沖縄島北部	
37	(コガタハナサキガエル)	両生類	アカガエル科	石垣島・西表島(固有種)	
38	(イボイモリ)	両生類	イモリ科	沖縄島、瀬底島、渡嘉敷島	
39	(フチリゲンゴロウ)	昆虫類	ゲンゴロウ科	トカラ列島の宝島、奄美諸島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島、中国、台湾、フィリピン、ベトナム、タイ、インドネシア、インドなど	
40	(リュウキュウヒメミスミン)	昆虫類	ミスミン科	奄美大島・徳之島・沖縄島・伊平屋島・伊是名島・久米島・石垣島・西表島および与那国島	
41	(ヨナグニマルバネクワガタ)	昆虫類	クワガタムシ科	与那国島(固有亜種)	
42	(オキナワマルバネクワガタ)	昆虫類	クワガタムシ科	沖縄島北部、久米島	
43	(ヤンバルテナゴコガネ)	昆虫類	コガネムシ科	沖縄島北部(固有種)	
44	(ヒサマツサイカブ)	昆虫類	コガネムシ科	南大東島(固有種)	
45	(クメジマボタル)	昆虫類	ボタル科	久米島(固有種)	
46	(タガメ)	昆虫類	コオイムシ科	北海道、本州、四国、九州、対馬、沖縄島、石垣島、西表島、与那国島に分布し、国外では朝鮮半島、中国、アッサム、台湾、インドに分布	
47	(イシガキニイ)	昆虫類	セミ科	石垣島(固有種)	
48	(ガマアシナガアリ)	昆虫類	アリ科	沖縄島	
49	(ヘリトリケマイマイ)	陸産貝類	オナジマイマイ科	沖縄島北部の石灰岩地である辺戸石山・辺戸岬周辺	
50	(オオアガリマイマイ)	陸産貝類	オナジマイマイ科	南大東島(固有種)	
51	(ホソアキアツマイマイ)	陸産貝類	オナジマイマイ科	北大東島(固有種)	
52	(アマノヤマタカマイマイ)	陸産貝類	ナンバンマイマイ科	沖縄島南部(固有種)	
53	(ウラキヤマタカマイマイ)	陸産貝類	ナンバンマイマイ科	宮古島、伊良部島(固有種)	
54	(イヘヤヤマタカマイマイ)	陸産貝類	ナンバンマイマイ科	伊平屋島(固有種)	
55	(クメジマイマイ)	陸産貝類	ナンバンマイマイ科	久米島固有亜種	
56	(ミヤコオキナワギセル)	陸産貝類	キセルガイ科	宮古島の野原岳の限られた範囲	
57	(カクレサワガニ)	甲殻類	サワガニ科	渡嘉敷島(固有種)	
58	(トカシキオオサワガニ)	甲殻類	サワガニ科	渡嘉敷島(固有種)	
59	(ミヤコサワガニ)	甲殻類	サワガニ科	宮古島(固有種)	
60	(ヒメユリサワガニ)	甲殻類	サワガニ科	沖縄島(固有種)	

10 自然環境関係

<植物>				(令和2年3月現在)
No.	種名または亜種名	類	名	主な生息地
1	(クロボウモドキ)	植物	バンレイシ科	西表島、波照間島
2	(オキナワテンナンショウ)	"	サトイモ科	沖縄島北部(固有亜種)
3	(ユズノハカズラ)	"	サトイモ科	北大東島、南大東島
4	(サキシマハフカズラ)	"	サトイモ科	西表島、石垣島
5	(ヒメハフカズラ)	"	サトイモ科	西表島、石垣島
6	(オナガサイシン)	"	ウマノスズクサ科	沖縄島北部
7	(モノドラカンアオイ)	"	ウマノスズクサ科	西表島(固有種)
8	(ヒナカンアオイ)	"	ウマノスズクサ科	沖縄島北部(固有種)
9	(ヤエヤマカンアオイ)	"	ウマノスズクサ科	西表島(固有種)
10	(マキノシダ)	"	チャセンシダ科	石垣島
11	(イエジマチャセンシダ)	"	チャセンシダ科	伊江島(固有変種)
12	(オトメシダ)	"	チャセンシダ科	石垣島
13	(ヒメタニワタリ)	"	チャセンシダ科	北大東島
14	(ウスイロホウビシダ)	"	チャセンシダ科	沖縄島南部?、与那国島
15	(ヨナクニイソノギク)	"	キク科	与那国島(固有種)
16	(ダイトウフダン)	"	キク科	北大東島、南大東島(大東諸島固有変種)
17	(ボロジノニシキソウ)	"	トウダイグサ科	北大東島、南大東島
18	(ナガミカズラ)	"	イワタバコ科	西表島
19	(リュウキュウキンモウワラビ)	"	キンモウワラビ科	沖縄島北部
20	(エダウチタヌキマメ)	"	マメ科	伊是名島
21	(タシロマメ)	"	マメ科	石垣島、西表島
22	(ホソハフジボグサ)	"	マメ科	宮古島、石垣島、西表島、小浜島
23	(サクヤアカササゲ)	"	マメ科	沖縄島北部
24	(ヒメヨウラクヒ)	"	ヒカゲノカズラ科	沖縄島北部、石垣島、西表島
25	(ササキカズラ)	"	キジノオシダ科	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、新城島(下地島)、与那国島、波照間島
26	(エンレイショウキラン)	"	ラン科	沖縄島北部?、石垣島、西表島、与那国島
27	(キバナシユスラン)	"	ラン科	沖縄島北部、石垣島、西表島
28	(コウシュンシユスラン)	"	ラン科	沖縄島北部、石垣島、西表島
29	(タイワンエビネ)	"	ラン科	沖縄島北部、西表島、石垣島
30	(カンダヒメラン)	"	ラン科	沖縄島(北部~中部)、石垣島、西表島
31	(オオスズムシラン)	"	ラン科	西表島、石垣島
32	(タカオオオスズムシラン)	"	ラン科	西表島
33	(オキナワセッコク)	"	ラン科	沖縄島北部(沖縄島固有種)
34	(タカサゴヤガラ)	"	ラン科	沖縄島北部
35	(ヤブミョウガラン)	"	ラン科	沖縄島北部
36	(テツオサギソウ)	"	ラン科	沖縄島北部?、石垣島、与那国島
37	(オオカゲロウラン)	"	ラン科	石垣島、与那国島
38	(ナンバンカモメラン)	"	ラン科	西表島
39	(オオギミラン)	"	ラン科	沖縄島北部、西表島
40	(タコガタサギソウ)	"	ラン科	伊平屋島
41	(ヒメカクラン)	"	ラン科	沖縄島北部、石垣島、西表島
42	(クニガミトシボソウ)	"	ラン科	沖縄島北部(国頭村、東村、大宜味村)、西表島
43	(イリオモテトシボソウ)	"	ラン科	西表島(固有亜種)
44	(ハガクレナガミラン)	"	ラン科	西表島
45	(ミノボシラン)	"	ラン科	石垣島、西表島
46	(リュウキュウキジノオ)	"	キジノオシダ科	西表島
47	(イネガヤ)	"	イネ科	沖縄島北部
48	(リュウキュウヒメハギ)	"	ヒメハギ科	久米島
49	(アラゲタデ)	"	タデ科	北大東島、南大東島
50	(ダイトウサクラタデ)	"	タデ科	北大東島、南大東島
51	(ハカマウラボシ)	"	ウラボシ科	沖縄島北部
52	(ヒメクロウメモドキ)	"	クロウメモドキ科	沖縄島北部(固有種)
53	(ヒジハリノキ)	"	アカネ科	石垣島
54	(オキナワヒメウツギ)	"	ユキノシタ科	沖縄島南部(固有変種)
55	(ヤエヤマヒメウツギ)	"	ユキノシタ科	西表島(固有種)
56	(コモチナナバケシダ)	"	ナナバケシダ科	沖縄島中部
57	(ナガバウスバシダ)	"	ナナバケシダ科	石垣島
58	(ヒシバウオトリギ)(アツバオウトリギ)	"	シナノキ科	石垣島
59	(ケナシハテルマカズラ)	"	シナノキ科	伊良部島、多良間島
60	(ヨナクニキホコリ)	"	イラクサ科	石垣島、与那国島(固有種)
61	(インガキスミレ)	"	スミレ科	石垣島(固有変種)
62	(オキナワスミレ)	"	スミレ科	沖縄島中部(固有種)

(1) 狩猟免許取得状況及び狩猟者登録状況（延べ）

（令和2年3月31日現在）

種別 年度	狩猟免許取得状況(件)					狩猟者登録状況(件)				
	網	わな	第一種	第二種	計	網	わな	第一種	第二種	計
H27	84	420	341	24	869	3	194	233	17	447
H28	85	458	355	32	930	2	226	222	18	468
H29	96	508	370	36	1,010	6	237	226	23	492
H30	92	542	374	37	1,045	5	250	244	22	521
R1	83	596	401	34	1,114	3	277	260	26	566

(2) 狩猟免許交付件数の内訳

（令和2年3月31日現在）

種別 年度	新規(狩猟免許試験)					更新(狩猟者講習)					計
	網	わな	第一種	第二種	計	網	わな	第一種	第二種	計	
H27	12	61	26	12	111	24	119	133	5	281	392
H28	10	58	34	9	111	8	96	62	1	167	278
H29	21	76	25	5	127	23	97	84	4	208	335
H30	8	69	34	6	117	25	147	135	12	319	436
R1	1	80	37	3	121	8	125	74	4	211	332

(3) 有害鳥獣捕獲実績

（令和2年3月31日現在）

年度	獣類(頭)			鳥類(羽)					計
	イノシシ	その他	小計	カラス	ヒヨドリ	鴉(カウ)	その他	小計	
H27	621	1,802	2,423	14,546	0	324	1,563	16,433	18,856
H28	924	1,000	1,924	11,419	0	636	2,313	14,368	16,292
H29	884	950	1,834	14,306	0	636	1,556	16,498	18,332
H30	1,076	1,130	2,206	16,544	0	68	3,462	20,074	22,280
R1	1,250	1,287	2,537	13,789	0	752	3,056	17,597	20,134

10 自然環境関係

(14) 市町村別自然公園面積

(令和2年3月31日現在)

単位:ha

区分 公園名・市町村名	陸地面積				海域面積			合計
	特別保護 地区	特別地域	普通地域	計	海域公園 地区	普通地域	計	
石垣西表国立公園	5,181	28,819	6,658	40,658	15,923	65,574	81,497	122,155
① 竹 富 町	4,624	22,375	6,538	33,537				
② 石 垣 市	557	6,444	120	7,121				
慶良間諸島国立公園	305	2,962	253	3,520	8,290	82,185	90,475	93,995
① 渡 嘉 敷 村	77	1,662	153	1,892				
② 座 間 味 村	228	1,300	100	1,628				
やんばる国立公園	3,009	13,312	1,031	17,352	0	3,670	3,670	21,022
① 国 頭 村	2,327	10,040	912	13,279				
② 大 宜 味 村	3	2,505	85	2,593				
③ 東 村	679	767	34	1,480				
沖縄海岸国定公園	72	2,290	2,510	4,872	126	10,859	10,985	15,857
① 国 頭 村		183	335	518			0	518
② 大 宜 味 村		75	54	129			0	129
③ 今 帰 仁 村	40	403	486	929			0	929
④ 本 部 町	32	320	255	607				607
⑤ 名 護 市		861	1,032	1,893	76		76	1,969
⑥ 恩 納 村		430	286	716	50		50	766
⑦ 読 谷 村		18	62	80			0	80
沖縄戦跡国定公園	29	521	2,577	3,127	0	1,932	1,932	5,059
① 糸 満 市	29	431	2,126	2,586			0	2,586
② 八 重 瀬 町		90	451	541			0	541
久米島県立自然公園		3,383	2,742	6,125	0	5,743	5,743	11,868
① 久 米 島 町		3,383	2,742	6,125		5,743	5,743	11,868
伊良部県立自然公園		562	2,853	3,415	0	2,324	2,324	5,739
① 宮 古 島 市		562	2,853	3,415		2,324	2,324	5,739
渡名喜県立自然公園		251	91	342	0	1,260	1,260	1,602
① 渡 名 喜 村		251	91	342		1,260	1,260	1,602
多良間県立自然公園		332	1,821	2,153	0	3,147	3,147	5,300
① 多 良 間 村		332	1,821	2,153		3,147	3,147	5,300
9公園計	8,596	52,432	20,536	81,564	24,339	176,694	201,033	282,597

(15) 自然公園施設等状況

(令和2年3月31日現在)

公園名	市町村名	事業名	事業面積 m ²	休憩所			公衆トイレ			シャワー室			歩道等				備考	
				箇所	㎡	年度	箇所	㎡	年度	箇所	㎡	年度	歩道	車道	駐車場	整備		
やんばる 国立公園	国領村	1 沼戸園地	2,303	1	30	H10							414		2,148	H6	H9 一部国領村へ移管	
		2 茅打/パンダ園地	8,900	1	20	S60	1	36	H12					147		1,500		H12
	小計		2	50		1	36						561		1,500			
	大宜味村	3 塩原河川園地	180	1	28	S59											S59	
	公園計			3	78		1	36					638		1,500			
西表石垣 国立公園	竹富町	4 竹富島園地					1	42	H4									
		(コンドイ園地)	2,687	1	40	H6	1	15	H1	1	30	S63			102	S63		
		5 黒島園地	1,713	1	20	S60	1	13	H11	1	18	H11		590			H2	
		6 小浜園地	2,800	1	20	S62	1	20	S62					191			S62	
		(大岳園地)	3,503	1	20	S54	1	20	H12					434		117	H10	
		7 南風見田園地	520	1	40	H7												
		(黒島球技場園地)	2,040	1	30		1	14										中止 H24→事業移管 H28→委託管理へ
	浦内川自然観察路												2,300					
小浜橋園地	1,300	1	30		1	20										H15中止 H16廃止 H20委託へ		
西表縦糸線歩道				1	40		1	10										
公園計				5	140		5	130		2	48		1,125		317			
慶良間諸島 国立公園	座間味村	8 高月山園地 (座間味島)	24,000	1	30	S54	1	30	H10				620		101	S54		
		吉里間島園地	1,800	1	20		1	40									中止	
		9 ティン園地 (座間味島)	845	1	20	S62	1	10	H20									
		10 穂の浜園地 (座間味島)	1,920	1	20	H12	1	10						84			H12 H20→委託へ	
		11 越前園地 (西表島)	300	1	20	H3	1	12	H3					130		100	H3 H10→委託へ	
	小計			4	90		2	40					834		201			
渡嘉敷村	12 照山園地 (渡嘉敷島)	1,200	1	0	H14	1	10	S57				922				S59		
13 阿波連御園地 (渡嘉敷島)	4,569	3	67	H18	1	23	H10					478		713	H10			
小計			4	77		2	33					1,401		713				
公園計				8	167		4	73				2,235		914				
国立公園 合計				16	375		10	219		2	48		4,048		2,631			
沖縄海洋 国立公園	豊後村	14 泉堂田園地	51	1	10	H1	1	40		1	20						H9 一部豊後村へ移管 H10 一部寺原C村へ	
		15 連天森園地	51	1	20	S58							196					
		16 連天津園地	500	1	20	S59							312		S59			
	小計			2	40							312						
水都町	17 南郷カスミ採採路 (水都カスミと多道)	6,334										1,860				H20→ H27		
公園計			3	58								2,172						
沖縄戦跡 国立公園	八重瀬町	18 具志頭園地 (戦跡地区)	57	1	20	H29	1	20	H3									
		(海浜地区)	3,283	1	33	H9	1	23	H10					310	250	H8		
		(環状歩道地区)												944			H14	
	小計			2	53		2	43					944	310	250			
	糸満市	19 喜屋武明園地	1,240	1	20	H4	1	15	H4						800	H26 H5 H28		
20 大度園地	2,466	1	30	H5	1	16	H5					217	84	574				
小計			2	50		2	31					217	84	1,374				
公園計			4	103		4	74					1,161	394	1,640				
国立公園 合計				7	161		4	74				1,330	384	1,640				
久米島国立 自然公園	久米島町	21 たるま山園地	10,617	3	97	S60 H9	1	23	S60				873	1,342	1,480	S60→ H1		
		22 五柱の松園地	6,078	1	13	H8	1	30	H9				350	120	785	H8		
		23 宇江城 - 村付環線歩道	3,014	1	26	H15	1	16	H15				527		943	H15		
		24 豊武前園地 (イーフビークル)	11,827	3	60	S59 H7	1	14	H2				2,087	1,295	1,747	S59→ H4		
	公園計			8	250		3	101		1	16	S63	3,747	2,757	4,955			
伊良部国立 自然公園	宮古島市	25 伊良部園地 (伊良部島)	9,856	2	75	H9	1	18	H9						203	536	H9	
		26 国仲休憩所 (下地島)	300	1	13									201			H12 H10陸域にあり 一部陸去	
公園計				2	75		1	18				201	202	536				
渡名喜国立 自然公園	渡名喜村	27 渡名喜島園地	1,246	1	24	H12							86		254	H12		
		28 西森園地	260	1	0	H17								518			H17	
公園計				2	24							612		254				
国立公園 合計				13	357		6	119		1	16		4,580	3,059	5,745			
合計				36	803		20	412		3	64		11,941	3,853	10,016			

※他に環境省直轄事業として整備した竹富島ビジターセンター、黒島ビジターセンター、西表野生生物保護センター、やんばる野生生物保護センター、漫湖水鳥湿地センターなどがある。

10 自然環境関係

(16) 自然公園区域における許認可などの状況

単位:件

公園名 \ 年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
沖縄海岸国定公園	53	37	51	59	66	48	60
沖縄戦跡国定公園	15	28	29	26	17	19	10
久米島県立自然公園	2	4	1	5	9	10	15
伊良部県立自然公園	2	4	8	11	19	21	17
渡名喜県立自然公園	0	0	0	2	2	0	1
多良間県立自然公園	1	0	3	0	1	1	0
計	73	73	92	103	114	99	103

(17) 自然公園利用状況

単位:千人

次 \ 年	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
西表石垣 国立公園	1,994	2,270	2,259	2,310	2,456	2,414	2,498
慶良間諸島 国立公園	-	202	202	234	251	231	230
やんばる 国立公園	-	-	-	668	742	836	1,028
沖縄海岸 国定公園	8,258	8,774	9,338	9,747	10,524	11,038	10,733
沖縄戦跡 国定公園	7,839	8,355	8,919	9,599	10,199	10,556	10,128
久米島県立 自然公園	259	271	443	468	473	463	302
伊良部県立 自然公園	115	118	140	192	261	312	297
渡名喜県立 自然公園	12	8	8	10	11	10	2
多良間県立 自然公園	12	13	13	13	15	17	17
計	18,489	20,011	21,322	23,241	24,932	25,877	25,235

11 共通的・基盤的施策関係

(1) 環境影響評価の実施状況

ア 環境影響評価条例等に基づくもの

(令和2年3月31日現在)

年度 ¹⁾	事業名 ²⁾	実施主体	分類 ³⁾	根拠 ⁴⁾	備考
昭和62	那覇新都心土地区画整理事業	地域振興整備公団	面整備	閣議	
平成2	都市計画道路1.3.1那覇空港自動車道	国	道路	閣議	
	久米島空港拡張整備事業	県	飛行場	自主	
平成3	中城湾港(新港地区)公有水面埋立(第2次)	国及び県	埋立	閣議	
平成5	南風原町津嘉山北地区土地区画整理事業	南風原町	面整備	規程	
	北大東空港施設変更事業	県	飛行場	規程	
平成6	中城湾港(新港地区)公有水面埋立(第3次)	国及び県	埋立	閣議	
	八重山リゾート開発	民間	レク施設	規程	
	糸満市南浜地先公有水面埋立事業	市土地開発公社	埋立	規程	
平成7	中城湾港(西原与那原地区)公有水面埋立事業	県	埋立	閣議	
	ムーンビーチワールド健康村開計画	民間	レク施設	規程	
	(仮称)中城ゴルフクラブ	民間	レク施設	規程	
	糸満市・豊見城村清掃施設組合ごみ焼却施設	施設組合	廃棄物処理施設	規程	
	沖縄製粉工場新設事業	民間	工場等	規程	
	浦添南第二土地区画整理事業	浦添市	面整備	規程	
	沖縄都市モノレール計画事業	県・那覇市	鉄道軌道	規程	
平成8	豊見城地先公有水面埋立事業	県土地開発公社	埋立	閣議	
平成9	(仮称)はいむるぶしゴルフ場開発計画	民間	レク施設	規程	
	(仮称)宮古島シキラビーチリゾート開発事業	民間	レク施設	規程	
	(仮称)宜野座カントリー開発計画	民間	レク施設	規程	
	古宇利大橋整備事業	県	その他	規程	
平成10	国道331号豊見城糸満バイパス建設事業	国	道路	閣議	
	一般国道58号名護東道路建設事業	国	道路	自主	
平成11	(仮称)グセサザンビルリゾート開発計画	民間	レク施設	規程	
	新多良間空港整備事業	県	飛行場	規程	
	中城湾港(泡瀬地区)公有水面埋立事業	国及び県	埋立	閣議/法	乗移り ⁵⁾
平成12	一般国道329号沖縄バイパス建設事業	国	道路	法	方法書終了
	(仮称)琉球アネックス開発計画	民間	レク施設	規程/条例	乗移り ⁵⁾
	一般県道屋我地仲宗根線整備事業	県	道路	規程	

11 共通的・基盤的施策関係

平成 12	パームヒルズゴルフリゾート9ホール開発計画	民間	レク施設	規程	
	(仮称) サンプラザ石垣開発計画	民間	レク施設	規程/条例	乗移り ⁵⁾
	大宜味村地先(塩屋湾外海)公有水面埋立事業	大宜味村	埋立	規程/条例	乗移り ⁵⁾
	中部北環境施設組合ごみ処理施設建設事業	施設組合	廃棄物処理施設	条例	乗移り ⁵⁾
平成 13	与那国空港拡張整備事業	県	飛行場	法	
	那覇市・南風原町ごみ処理施設整備事業	施設組合	廃棄物処理施設	条例	乗移り ⁵⁾
	儀間川総合開発事業	県	ダム	条例	
	米軍泡瀬ゴルフ場移設事業	国	ゴルフ場	条例	
平成 14	ヤエネシア村開発計画	民間	レク施設	条例	
	北部訓練場ヘリコプター着陸帯移設事業(仮称)	国	ヘリ着陸帯	自主	
	ホワイトビーチ地区艦船し尿処理施設建設事業	国	し尿処理施設	条例	
	八重山リゾート開発計画	民間	ゴルフ場	条例	
	県営畑地帯総合整備事業西原地区	県	農用地改良	条例	
	ベルビーチゴルフクラブ9ホール建設工事	民間	ゴルフ場	条例	事業廃止 ⁶⁾
	村道辺野喜楚洲線	県代行	道路	自主	
	伊良部大橋橋梁整備事業	県	道路	条例	
	吉の浦火力発電所 ⁶⁾	民間	発電所	法	
	新石垣空港整備事業	県	空港	法	
	倉浜衛生施設組合ごみ処理施設整備事業	施設組合	廃棄物処理施設	条例	
平成 15	(仮称) 読谷ゴルフ倶楽部	民間	ゴルフ場	条例	
	吉の浦火力発電所 ⁷⁾	民間	発電所	法	
平成 16	普天間飛行場代替施設建設事業	国	飛行場/埋立	法	事業廃止 ⁶⁾
平成 17	沖縄科学技術大学院大学(仮称)整備事業	独立行政法人	大学の施設	自主	
	県道平和の道線(仮称)整備事業	県	道路	条例	
	産業廃棄物焼却熔融再資源化施設の整備事業	民間	廃棄物処理施設	条例	事業廃止 ⁶⁾
	那覇港(浦添ふ頭地区)公有水面埋立事業	浦添市土地開発公社 那覇港管理組合	埋立	条例	
平成 19	主要地方道南風原知念線整備事業	県	道路	条例	
	産業廃棄物焼却熔融再資源化施設の整備事業	民間	廃棄物処理施設	条例	
	普天間飛行場代替施設建設事業	国	埋立	法	
	普天間飛行場代替施設建設事業	国	飛行場	条例	
平成 20	伊平屋空港整備事業	県	飛行場	条例	評価書終了
	宮古島市ごみ処理施設整備事業	宮古島市	廃棄物処理施設	条例	
平成 21	アワセゴルフ場跡地土地区画整理事業	北中城村	土地区画 整理事業	条例	
平成 22	那覇空港滑走路増設事業	国	飛行場/埋立	法	

平成 23	恩納通信所跡地リゾート計画	民間	レク施設	条例	
平成 24	那覇港浦添ふ頭コースタルリゾート地区公有水面埋立事業	浦添市土地開発公社 那覇港管理組合	埋立	条例	方法書終了
平成 26	(仮称) 西普天間住宅土地区画整理事業	宜野湾市	土地区画 整理事業	条例	
平成 28	宮古広域公園整備事業	県	レク施設	条例	評価書終了
	(仮称) 石垣リゾート&コミュニティ計画	民間	ゴルフ場	条例	方法書終了
平成 29	旧石垣空港跡地土地区画整理事業	石垣市	土地区画 整理事業	条例	方法書終了
	名護市新設廃棄物処理施設整備事業	名護市	廃棄物処理施設	条例	方法書終了
平成 30	浦添市新一般廃棄物処理施設整備事業	浦添市	廃棄物処理施設	条例	方法書終了
	(仮称) 勝連半島南側道路整備事業	県	道路	条例	方法書終了
令和元	糸満市物流団地等造成事業	糸満市土地開発公社	土地の造成を伴う 事業	条例	事業廃止
	糸満市物流団地等造成事業	糸満市	土地区画 整理事業	条例	配慮書終了
	沖縄北部テーマパーク事業	民間	レク施設	条例	配慮書終了

注1) 年度は手続が開始された年度を示す。

2) 網掛けされた事業は手続が継続しているもの

3) 分類 レク施設：レクリエーション施設

4) 根拠 閣議：閣議決定「環境影響評価の実施について」(昭和59年8月28日～平成11年6月11日)

法：環境影響評価法(平成11年6月12日～)

規程：沖縄県環境影響評価規程(平成5年2月1日～平成13年10月31日)

条例：沖縄県環境影響評価条例(平成13年11月1日～)

自主：環境影響評価法、沖縄県環境影響評価条例等の対象事業ではないが、事業者が自主的に環境影響評価の手続を実施するもの

5) 閣議決定に基づく手続から法に基づく手続へ移行した案件、又は規程に基づく手続から条例に基づく手続へ移行した案件

6) 環境影響評価の手続の途中で、事業が行われないこととなった案件

7) 平成14年度に方法書の手続が行われたが、事業内容の変更に伴い平成15年度に方法書手続が再度行われたため、同一案件として数えている。

イ 電源の立地に関する通産省通達に基づくもの

実施年度	事業名	実施主体
昭和58年度	石川石炭火力発電所建設計画に伴う環境影響評価	電源開発(株)
平成2年度	具志川火力発電所建設に伴う環境影響評価	沖縄電力(株)
平成8年度	金武石炭火力発電所建設計画に伴う環境影響評価	沖縄電力(株)

ウ その他関係法令に基づくもの(令和元年度)

根拠法令等	公有水面埋立法	港湾法(港湾計画)	大規模小売店舗立地法 ^{注)}
件数	6	1	8

注) 店舗の新設及び変更の届出の際に騒音に関する予測・評価が行われる

11 共通的・基盤的施策関係

(2) 公害苦情の受付状況等

被害の種類別苦情件数（令和元年度）

	健康	財産	感覚的 心理的	その他	合計
件数	48	43	597	187	875
構成比(%)	5.5%	4.9%	68.2%	21.4%	100.0%

被害の用途地域別苦情件数（令和元年度）

	総数	都市計画法による都市計画区域									都市計 画区域 以外の 区域
		計	住居 地域	近隣 商業 地域	商業 地域	準工業 地域	工業 地域	工業 専用 地域	市街化 調整 区域	その他	
苦情 件数	875	668	462	12	69	10	8	1	64	42	207
構成比 (%)	100.0%	76.3%	52.8%	1.4%	7.9%	1.1%	0.9%	0.1%	7.3%	4.8%	23.7%

公害苦情の処理状況

年度	処理件数		
	合計	新規受付件数	前年度からの繰越
H26	813	811	2
H27	716	712	4
H28	902	893	9
H29	843	836	7
H30	762	758	4
R 元	888	875	13

機関別種類別新規受理件数（令和元年度）

種 類 市町村名	種	総 計	典 型 7 公 害							その他	
			小 計	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下		悪臭
1	那 覇 市	125	112	20	8	0	51	2	0	31	13
2	宜野湾市	3	3	0	0	0	2	0	0	1	0
3	石 垣 市	4	4	0	0	0	2	0	0	2	0
4	浦 添 市	40	34	3	2	0	16	1	0	12	6
5	名 護 市	44	40	21	3	0	5	0	0	11	4
6	糸 満 市	36	36	5	5	0	9	0	0	17	0
7	沖 縄 市	95	70	2	10	0	28	0	1	29	25
8	豊見城市	78	64	28	8	0	9	0	0	19	14
9	うるま市	101	74	12	4	0	18	1	0	39	27
10	宮古島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	南 城 市	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
小計(11市)		527	438	92	40	0	140	4	1	161	89
12	本 部 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	金 武 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	嘉手納町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	北 谷 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	西 原 町	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0
17	与那原町	151	11	0	3	0	6	0	0	2	140
18	南風原町	46	29	1	0	0	10	0	0	18	17
19	久米島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	八重瀬町	20	15	6	1	1	0	0	0	7	5
21	竹 富 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	与那国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計(11町)		220	58	10	4	1	16	0	0	27	162
23	国 頭 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	大宜味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	東 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	今帰仁村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	恩 納 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	宜野座村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	伊 江 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	読 谷 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	北中城村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32	中 城 村	4	3	0	0	0	2	0	0	1	1
33	渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	座間味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	粟 国 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	南大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	伊平屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41	多良間村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計(19村)		4	3	0	0	0	2	0	0	1	1
市町村合計		751	499	102	44	1	158	4	1	189	252
県の機関		124	69	23	25	0	1	0	1	19	55
合 計		875	568	125	69	1	159	4	2	208	307

12 用語の解説

【あ】

赤土等

沖縄県に分布するすべての土壌、これらに類する土壌母岩及びその砕屑物をいいます。主に国頭マーヅ、島尻マーヅ、ジャーガル及び沖積土壌の4種類からなり、これらが県全土に占める割合は、国頭マーヅ 55.1%、島尻マーヅ 27.4%、ジャーガル 8.0%、その他 9.5%となっています。

悪臭物質

悪臭防止法では、不快なおい原因となり、生活環境を損なうおそれのある物質として次の 22 物質を「特定悪臭物質」と定め、規制しています。

アンモニア [NH₃]

し尿のようなにおい

メチルメルカプタン [CH₃SH]

腐った玉ねぎのようなにおい

硫化水素 [H₂S]

腐った卵のようなにおい

硫化メチル [(CH₃)₂S]

腐ったキャベツのようなにおい

二硫化メチル [CH₃SSCH₃]

腐ったキャベツのようなにおい

トリメチルアミン [(CH₃)₃N]

腐った魚のようなにおい

アセトアルデヒド [CH₃CHO]

刺激的な青ぐさいにおい

プロピオンアルデヒド [CH₃CH₂CHO]

刺激的な甘酸っぱい焦げたにおい

ノルマルブチルアルデヒド [CH₃(CH₂)₃CHO]

刺激的な甘酸っぱい焦げたにおい

イソブチルアルデヒド [(CH₃)₂CHCHO]

刺激的な甘酸っぱい焦げたにおい

ノルマルバレアルデヒド [CH₃(CH₂)₃CHO]

むせるような甘酸っぱい焦げたにおい

イソバレアルデヒド [(CH₃)₂CHCH₂CHO]

むせるような甘酸っぱい焦げたにおい

イソブタノール [(CH₃)₂CHCH₂OH]

刺激的な発酵したにおい

酢酸エチル [CH₃CO₂C₂H₅]

刺激的なシンナーのようなにおい

メチルイソブチルケトン [CH₃COCH₂CH(CH₃)₂]

刺激的なシンナーのようなにおい

トルエン [C₆H₅CH₃]

ガソリンのようなにおい

スチレン [C₆H₅CH=CH₂]

都市ガスのようなにおい

キシレン [C₆H₄(CH₃)₂]

ガソリンのようなにおい

プロピオン酸 [CH₃CH₂COOH]

刺激的な酸っぱいにおい

ノルマル酪酸 [CH₃(CH₂)₂COOH]

汗くさいにおい

ノルマル吉草酸 [CH₃(CH₂)₃COOH]

むれた靴下のようなにおい

イソ吉草酸 [(CH₃)₂CHCH₂COOH]

むれた靴下のようなにおい

アスベスト（石綿）（Asbestos）

蛇紋岩や角せん石に含まれる極細の鉱物繊維です。熱や磨耗に強いため、フロアタイル等の建材、蒸気パイプの被覆、自動車のブレーキライニング、ビルの天井への吹き付けなどに使用されてきましたが、発がん性（肺がん）などの健康影響を有することから、その製造・使用が原則禁止されています。大気汚染防止法では、「特定粉じん」として、特定粉じんを発生する施設については規制基準が設定されています。また、吹きつけ石綿など特定建築材料が使用された建築物及び工作物の解体等に係る作業について、知事への届出や作業基準の遵守が義務づけられています。

【い】

1 時間値（大気汚染）

測定している物質の1時間の平均濃度です。

1 日平均値（大気汚染）

1日 24 時間の測定結果(24 個の1時間値)の平均値です。ただし、1時間値のうち、欠側が4時間を超える時は、1日平均値に係る集計から除外しています。

一酸化炭素 (CO)

一般には、燃料等の不完全燃焼によって発生しますが、都市における最大の発生源は、自動車の排出ガスです。一酸化炭素は、血液中のヘモグロビンと結合し

て、酸素運搬機能を阻害します。環境基準は、「1時間値の1日平均値が 10ppm 以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が 20ppm 以下」とされています。

移動発生源と固定発生源

大気汚染物の発生源は、固定発生源と移動発生源に分類されます。固定発生源としては工場又は事業場のボイラーや焼却炉等があり、移動発生源としては自動車、船舶及び航空機等があります

【え】

SS (Suspended Solid : 懸濁物質)

浮遊物質質量。水中に浮遊している物質の量をいい、一定量の水をろ紙でこし、乾燥させてその重量を測ることとされており、数値(mg/l)が大きいほど水質汚濁の著しいことを示しています。

SPSS (Content of Suspended Particles in Sea Sediment)

懸濁物質含量。底質に含まれるシルト状微粒子量のことと赤土等堆積の目安になります。

Lden (時間帯別等価騒音レベル)

1日の間に観測された個々の航空機騒音の単発騒音レベル(L_{AE})を昼・夕・夜の時間帯別に補正した後にエネルギー加算し、1日の時間平均をとってレベル表示したものをいいます。単位はデシベル(dB)。

Lden の d は day、e は evening、n は night を表す。昼夕夜平均騒音レベルともいいます。

【お】

オゾン・オゾン層

オゾン(O₃)は、空気又は酸素中で放電するときに生じ、紫外線の照射、雷の放電などによって生成されます。酸化性の強い、臭気のある気体で、人体や植物に有害な光化学スモッグの原因となるオキシダントの主成分であるとされています。地表から 15～50 キロメートルの上空には、オゾンが高濃度に存在する層があり、太陽から来る有害紫外線を遮断し、地表の生物を保護する大切な役割を果たしています。

近年、極地上空のオゾン濃度が急激に減少していることが観測され、オゾン層を保護するため、特定フロン等の使用を削減する国際的な条件(ウィーン条約)が締結されています。

汚濁負荷量

河川や海域の水質を汚濁する物質の総量をいい、汚

濁負荷量 = 濃度 × 水量によって計算されます。代表的な指標として BOD、COD があります。

汚泥

工場排水等の処理後に残るでい状のもの、及び各種製造業の製造過程において生ずる泥状のものであって、有機性及び無機性のものすべてを含むものです。

温室効果

大気による地表面の保温効果のことです。太陽から流入する日射を吸収して加熱された地表面は赤外線の熱放射をしますが、大気中には赤外線を吸収する「温室効果ガス」と言われるガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素等)があり、地表面からの熱をいったん吸収してしまっています。温室効果ガスを含む大気によって吸収された熱の一部は地表面に下向きに放射されて加熱するため、地表面はより高い温度となります。この効果を「温室効果」といいます。

温室効果は、二酸化炭素を1とすればメタンで 25 倍、一酸化二窒素で約 300 倍といわれ、異常気象の頻発を始め地球環境へ様々な深刻な影響をもたらすことが懸念されており、温室効果ガスの排出削減が国際的な課題となっています。

【か】

化学的酸素要求量 (COD : Chemical Oxygen Demand)

海水中における有機物による汚濁の程度を示すもので、水の中に含まれている有機物質が酸化剤によって酸化されるときに消費される酸素の量(通常 mg/l で表わす)をいい、数値が高いほど有機物の量が多く、汚れが大きいことを示しています。

環境影響評価 (環境アセスメント)

規模が大きく環境影響の程度が著しいものとなるおそれがある事業の実施に当たりあらかじめ事業者自らが、当該事業の実施が環境に及ぼす影響について調査、予測及び評価を行い、環境保全措置を検討し、この措置が講じられた場合における環境影響を総合的に評価することをいいます。

環境影響評価準備書

準備書は、事業者が、方法書に対する意見を勘案・配意して環境影響評価の項目・手法を選定し、環境影響評価を実施した後、この環境影響評価の結果について環境保全の見地からの意見を聴くための準備として作成する文書です。

12 用語解説

環境影響評価その他の手続

「環境影響評価」とは、「事業の実施に当たりあらかじめ、その事業の実施に係る環境への影響について、自ら適正に調査、予測及び評価を行い、環境保全措置を検討する」という事業者内部において行われる行為を指します。環境影響評価法や沖縄県環境影響評価条例においては、住民等（環境保全の見地から意見を有する者）の意見を聴く手続や、環境影響評価の結果を許認可等へ反映させる手続を定めておりますが、こうした手続は、「その他の手続」に該当するものです。

環境影響評価方法書

方法書は、事業者が環境影響評価を行うに当たって、環境影響評価の項目、調査・予測・評価の方法の案について、環境保全の見地からの意見を求めるために作成する文書です。

環境影響評価書

評価書は、準備書についての意見を勘案・配意して準備書について必要な修正を加え、事業者自らが実施した環境影響評価の結果を取りまとめた文書です。

環境基準

人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として濃度や大きさなどの数値で定められるものです。大気汚染、水質汚濁、地下水、土壌汚染及び騒音について環境基準が定められています。ただし、環境施策に係る行政上の目標として定められているものであり、公害発生源を直接規制するための基準（規制基準）とは異なります。

環境保全型自然体験活動

その参加者が、地域の自然環境について知識を有する者から案内又は助言を受け、当該地域の自然環境の保全について配慮しつつ当該地域の自然と触れ合い、これに対する理解を深めるための活動のことです。

環境マネジメントシステム

事業者が、法令等の遵守に留まらず、環境保全のために自主的・積極的に行動を取るための仕組みです。その一つであるISO14000シリーズは、国際統一規格としての環境マネジメント規格で、環境保全に関する方針、目標、計画等を自ら設定し、これらを実行、記録、点検して方針を見直すという一連の手続きを行い、目標達成に向けて取り組んでいくものです。環境負荷の低減に留まらず、省資源・省エネルギーを通じた経費削減、企業内部の管理体制の効率化に繋がるとも言われています。環境

管理の有効な手段として多くの企業が環境マネジメントシステムを活用しています。

環境容量

自然界で、汚染物質を水循環・生物循環によって浄化することができる汚染の許容量のことです。島しょ県である本県は、環境容量が小さいため環境負荷の増大に対し脆弱であるとされています。

【き】

気候変動

気候とは、一般に「十分に長い時間について平均した大気の状態」のことをいい、その変動や変化のことを気候変動といいます。気候変動は、人為起源の温室効果ガスの排出によって生ずる地球温暖化（→「地球温暖化」の頁を参照）と、地軸の傾きや地球の挙動変化の周期、太陽周期の変動、火山活動といった自然変動が合わさったものとして現れるものです。

気候変動については、その影響に対し、被害を防止・軽減していくための取組（適応策）が進められています。

規制基準

工場又は事業所から排出される汚染物質や発生する騒音等について許容限度を定めた基準であり、この数値は、人体に影響を及ぼす限界あるいは農作物などに影響を及ぼす限界などを考慮して定められ、具体的な数値は、各規制法令に定められています。

近隣騒音

生活を通して発生する多種多様な音が騒音として問題になるケースの騒音をいいます。具体的には、商業宣伝の拡声器の音、飲食店での営業騒音、家庭でのピアノ、テレビ、エアコンの音、ペットの鳴き声、学校・幼稚園での騒ぎ声などを指します。近隣騒音の特徴は、音量は小さく限られた近隣生活者間の問題として現われること、誰しも場合によっては被害者のみならず加害者になる可能性があること、もともと主観的な要素が絡む騒音の中で、特にその要素が一層強く出ること等があげられます。

揮発性有機化合物（VOC）

大気汚染防止法では「大気中に排出され、又は飛散したときに気体である有機化合物（浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定めるものを除く。）」と定義されており、同法に基づく揮発性有機化合物排出施設に対して揮発性有機化合物

の排出基準が定められています。

【く】

クチャ

ジャーガルの母岩。乾湿を繰り返すことにより風化が進み、細粒化して流出します。他の土壌よりも流出が顕著で、濁水となって流出する時の濃度も高くなっています。

国頭マーヅ

千枚岩、片岩、砂岩、珪岩、安山岩、花崗岩、結晶性石灰岩、国頭れき層など種々の母岩を持ちます。色は赤色～黄色で、一般的に強酸性を示します。粗粒質から細粒質まであり、下層土は緻密で透水性、通気性が悪くなっています。傾斜地に広く分布し、侵食を受けやすい受食性土壌です。一般的に赤土とは国頭マーヅのことを指します。

グリーン購入

製品やサービスを購入する際には、購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することを言います。

国においては、平成12年5月に制定された「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律(通称グリーン購入法)」において、グリーン購入への取組が義務づけられています。

また、地方自治体においてはグリーン購入に積極的に取り組むよう努力義務が課せられたことから、本県においては平成14年3月に「沖縄県グリーン購入調達方針」を策定し、県の各機関におけるグリーン購入の推進に取り組んでいます。

【け】

計画段階環境配慮書

配慮書は、事業者が環境影響評価を行うに当たって、事業の早期段階における環境配慮を図るため、事業の位置・規模等の計画の立案段階において、その事業の実施が想定される区域における環境の保全について適正な配慮をするべき事項について検討を行い、その結果をまとめた文書です。

健康項目

人の健康の保護に関する項目で有害物質を示すものであり、水質については次の27項目が挙げられます。

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、

アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4ジオキサン。

【こ】

公害防止管理者

「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」に定められた特定工場において、公害の防止に関する業務のうち技術的事項を管理する者をいいます。特定工場を設置している者は、ばい煙発生施設、汚水等排出施設、騒音発生施設、粉じん発生施設、振動発生施設及びダイオキシン類発生施設の区分ごとに、それぞれ異なる種類の公害防止管理者を選任しなければなりません。資格としては国家試験に合格するか、国の資格認定講習の課程を修了する必要があります。

なお、排出ガス量が毎時4万以上かつ排水量が1日当たり1万以上の特定工場には公害防止主任管理者を選任するものとされています。また、資格の要件はありませんが、常時使用する従業員が21人以上の特定工場には公害防止総括者の選任が義務づけられています。

光化学オキシダント

大気中の窒素酸化物や炭化水素等が強い紫外線等により光化学反応を起こして二次的に生成される、オゾン、アルデヒド、PAN類(パーオキシアセチルナイトレート=RCO₃NO₂)などの刺激性を有する物質の総称です。光化学オキシダントの発生は、気温や風速、日射量などの気象条件の影響を受け、夏期の風の弱い日差しの強い日に高濃度で発生しやすい。粘膜を刺激する性質を持ち、光化学オキシダントの高濃度汚染や視程の低下を招く粒子状物質(エアロゾル)を生成するような状態のことを「光化学スモッグ」と呼びます。

環境基準は「1時間値が0.06ppm以下」であることとなっています。

降下ばいじん

大気中に排出されたばいじんや風により地表から舞い上がった粉じんなどのうち、比較的粒径が大きく重いために大気中で浮かんでいられずに落下(降下)するもの、あるいは雨や雪などに取り込まれて降下するもの、その量はt/km²・月で表されます。

12 用語解説

公害防止協定

地方公共団体と企業、住民団体と企業などの間で、公害防止のために必要な措置を取り決める協定のことをいいます。地域の特殊性に応じた有効な公害規制を弾力的に実施するのに適するため、法律や条例の規制と並ぶ有力な公害防止上の手段として広く利用されています。

固定発生源

→「移動発生源」の項を参照

公共用水域

水質汚濁防止法では、「公共用水域とは河川、湖沼、港湾、沿岸海域その他公共の用に供される水域及びこれに接続する公共溝きよ、かんがい用水路その他公共の用に供される水路（「下水道法」第2条第3号及び第4号に規定する公共下水道及び流域下水道にあつて、同条第6号に規定する終末処理場を設置しているもの（その流域下水道に接続する公共下水道を含む。）を除く。）をいう。」と定義されています。

【さ】

最終処分場

一般廃棄物及び産業廃棄物を埋立処理するために必要な場所及び施設・設備の総体をいいます。産業廃棄物最終処分場には、安定型（廃プラスチック等）、管理型（汚でい等）、しゃ断型（有機物質を埋立基準以上含む廃棄物）があります。

産業廃棄物

産業廃棄物とは、事業活動に伴って生じる廃棄物のうち、廃棄物処理法で指定された燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス陶磁器くず、鉱さい、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん等の20種類をいいます。産業廃棄物以外の廃棄物を一般廃棄物といい、家庭ごみやし尿も含まれます。

産業廃棄物再生利用業

再生利用されることが確実である産業廃棄物のみの処理を業として行う者を都道府県知事が、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定した事業者のこと。

酸性雨

化石燃料などの燃焼により大気中に放出された硫黄酸化物や窒素酸化物などから生成した硫酸や硝酸が溶解した酸性の強い（pH5.6 以下の）雨や雪、霧（湿性沈

着）のほか、地上に降下する酸性の粒子状物質やガス状の酸（乾性沈着）も含めて酸性雨と呼んでいます。

【し】

COD（化学的酸素要求量、Chemical Oxygen Demand）

→「化学的酸素要求量」の項を参照

島尻マージ

琉球石灰岩を母岩とし、黄褐色～暗褐色で一般的に弱アルカリ性を示します。細粒質の重粘土で透水性は高くなっています。平坦地に分布し、侵食性の低い耐食性土壌です。土層厚は変化に富み、浅い部分ではれき質で基岩の露出するところがあります。

自動車排出ガス

自動車の運行に伴い発生するガスで、人の健康や生活環境の汚染に関わる物質として、一酸化炭素、炭化水素類、窒素酸化物及び粒子状物質などがあります。近年では、自動車排出ガスが主要な大気汚染源となっています。

ジャーガル

島尻層群の泥岩（クチャ）を母岩とし、黄緑褐色～灰色で、アルカリ性を示します。細粒質の重粘性土壌で、透水性は著しく低くなっています。緩傾斜地から平坦地に分布し、傾斜地では地滑りや崖崩を受けやすい性質があります。乾燥した表土は雨に流されやすく、高濃度の濁水の発生源となっています。

重金属

比重 4.0 以上の金属をいい、水銀、カドミウム、銅、鉛、クロム等生体に入ると微量でも有害なものが多くあります。

浄化槽（＝合併処理浄化槽）

便所と連結してし尿と生活雑排水（台所や風呂等からの排水）を併せて処理して放流するための設備・施設であつて、下水道、し尿処理施設以外のものをいいます。

従来、し尿のみを処理する「単独処理浄化槽」についても浄化槽の定義を含めてましたが、浄化槽法の改正（平成12年6月改正[平成13年4月施行]）により、浄化槽の定義を変更し、「合併処理浄化槽」のみを指すものとなりました。

浄化槽法改正以前に設置された「単独処理浄化槽」については、浄化槽のみなし施設・設備として従来どおり浄化槽法の適用対象としています。

【す】

水域類型

水質汚濁に係る環境基準のうち、生活環境の保全に関する環境基準については、河川、湖沼、海域別に利水目的に応じた水域を区切ってAA、A、B等の類型を設けています。pH、BOD等の項目について、それぞれの水域類型ごとに環境基準値を定め、各公共用水域に水域類型のあてはめを行うことにより当該水域の環境基準値が具体的に示されます。

水銀 (Hg)

常温で液体の唯一の金属です。湿った空气中で酸化物になりやすく、有毒で一般粉じん中 0.1mg/m³ が限度です。神経系をおかし、手足のふるえを起こしたり言語障害、食欲不振、聴力視力の減退をもたらします。

なお、水銀化合物の種類は多く、生体に対する作用のうえからは、無機水銀と有機水銀に大別されます。無機水銀化合物には金属水銀並びに塩化第二水銀が主なものであり、その他、硫化水銀、酸化水銀、硝酸水銀、雷酸水銀等があります。有機水銀化合物の種類は非常に多く、酢酸フェニール水銀やアルキル水銀であるメチル水銀、エチル水銀、ジメチル水銀、ジエチル水銀等があり、メチル水銀が「水俣病」の原因物質であることが知られています。

水質基準

一般に水質を保全するための基準としては、公共用水域の水質が、人の健康の保護並びに生活環境保全のために維持されることが望ましい基準として定められる環境基準と、工場又は事業場などから公共用水域に排出される水の水質許容限度として定められる排水基準の二つがあります。水質基準としては、まず水域の利用目的等による環境基準が定められ、この基準を達成するためのものとして排水基準が定められています。

【せ】

生物化学的酸素要求量 (BOD: Biochemical Oxygen Demand)

河川などの水の中の汚染物質(有機物)が微生物によって無機化あるいはガス化されるときに必要とされる酸素量のことで、単位は一般的に mg/l で表します。この数値が大きくなれば、その河川などの水中には汚染物質(有機物)が多く、水質が汚濁されていることを意味します。

生活環境項目

水質汚濁物質の中で、生活環境に悪影響を及ぼすおそれがあるものとして定められた pH、BOD、COD、

SS、DO、大腸菌群数、全窒素、全りん、n-ヘキサン抽出物質及び亜鉛の項目をいいます。

生態系サービス

生物や生態系に由来した人類に利益となる機能のことです。栄養や土壌形成などの基盤サービス、食品や燃料などの供給サービス、気候や洪水制御などの調整サービス、レクリエーションや知的・文化的要素の文化サービスに大別され、生物多様性に支えられた生態系が、人類に多大な利益をもたらすことを理解するために用いられています。

生物多様性

生きものたちの豊かな個性とつながりを表す言葉です。地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接的に、間接的に支えあって生きています。生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるとしています。

【た】

大腸菌群数

大腸菌群とは、乳糖を分解し酸とガスを形成する好気性又は通性嫌気性の菌の総称です。大腸菌群が水中に存在するという事は、多くの場合、その水が人畜のし尿などで汚染されている可能性を示すものであることから、水質汚濁の指標とされています。

WECPNL (Weighted Equivalent Continuous Perceived Noised Level)

ある場所における1日あたりの航空機騒音の大きさを表す単位で、1機ごとの騒音レベルだけでなく、飛来時間や機数をも考慮したものです。まず1日に飛来した航空機の騒音レベルをすべてパワー平均し、更に時間帯別機数について、夕方に飛来した機数を3倍、夜に飛来した機数を10倍(同じ大きさの騒音でも昼と夜とでは、夜の方がうるさく感じられる)にして計算します。

[計算方法]

$$WECPNL = \overline{dB(A)} + 10fN - 27$$

$\overline{dB(A)}$: 1日に飛来した飛行機の騒音レベルを全てパワー平均したもの

N : 飛来時間ごとに補正された機数

N : N₂ + 3N₃ + 10(N₁ + N₄)

N₁ : 0時～7時に飛来した機数

N₂ : 7時～19時に飛来した機数

12 用語解説

N₃: 19時～22時に飛来した機数

N₄: 22時～24時に飛来した機数

短期的評価（大気汚染）

1時間値、1日平均値、あるいは8時間平均値について測定結果を環境基準に比較して行う評価方法で、高濃度の出現状況の把握に利用されます。

【ち】

地球温暖化

二酸化炭素、メタン、フロン類等の温室効果ガスが人為的に排出されることで、大気中の温室効果ガス濃度が上昇して温室効果が強まり、その結果、大気や海水などの温度が上昇することを言います。

地球温暖化への対策として、温室効果ガス排出削減の取組（緩和策）が進められています。

窒素酸化物（NO_x）

大気汚染物質としての窒素酸化物は、一酸化窒素や二酸化窒素が主です。工場の煙や自動車排気ガスなどの窒素酸化物の大部分は一酸化窒素ですが、これが大気環境中で紫外線などにより酸素やオゾンなどと反応し二酸化窒素に酸化します。そこで、健康影響を考慮した大気環境基準は二酸化窒素について定められています。排出基準は窒素酸化物として基準値が決められています。

長期的評価（大気汚染）

主として1年を単位とする平均的な評価で、汚染の実態や推移を把握するものです。なお、一般に環境基準の達成、未達成をいう場合は長期的評価を指しています。

【て】

DO (Dissolved Oxygen)

→「溶存酸素量」の項を参照

底質

生物をとりまく外囲物質（媒質）のうち固体の場合を言います。陸上では岩石や土壌、水界では汚泥、岩石が代表的な底質であり、底質は生物の分布を左右する最も重要な環境要因の一つです。

典型7公害

環境基本法第2条第3項に定義されている、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭の7種類の公害のことを指します。

【と】

特定施設

公害規制法令で規制の対象になっている施設で、汚水を排出する施設、大気汚染物質や騒音・振動を発生する施設等をいいます。

特定フロン

1985年3月、オゾン層の保護に関するウィーン条約が採択され、同条約に対する「モントリオール議定書」が1987年9月に採択され、1989年1月に発効しました。この議定書ではフロン11、フロン12、フロン113、フロン114、フロン115の5種類が規制の対象となり、1998年までに1986年の消費量の50%に削減することが決まり、後に1992年11月の国連環境計画のコペンハーゲン会議で1996年に全廃することが採択されました。この5種類のフロンを特定フロンと呼んでいます。

トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン

トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタンは、不燃性で水に溶け難く、エーテル、エタノール等の有機溶剤によく溶け、脱脂力が強く、金属部分の脱脂洗浄、半導体のプリント基盤及びドライクリーニングの洗浄剤などに利用されています。肝機能障害や中枢神経障害等を起こし、発がん性の疑いもあります。

公共用水域の水質汚濁に係る環境基準は、トリクロロエチレン0.01mg/L以下、テトラクロロエチレン0.01mg/L以下、1,1,1-トリクロロエタン1mg/L以下と定められています。

【な】

鉛 (Pb)

青みを帯びた、あるいは銀白色の軟らかい金属である。水や海水に耐食性があります。

人体に対する影響としては、1日0.5mg以上の摂取で毒性を示し、その1000倍の0.5g以上の摂取で致命的な障害を起こすといわれている。水質汚濁に係る環境基準値は0.01mg/l以下と定められています。

【に】

二酸化硫黄 (SO₂)

→「硫黄酸化物(SO_x)」の項を参照

二酸化窒素 (NO₂)

→「窒素酸化物(NO_x)」の項を参照

環境基準は、「1時間値の1日平均値 0.04ppm から0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下」であることとなっ

ています。

日平均値の2%除外値（大気汚染）

1年間に得られた1日平均値を整理し、高い方から2%の範囲にある測定値(365日の1日平均値があれば7日分のもの)を除外した後の最高値で、二酸化硫黄(SO₂)、一酸化炭素(CO)及び浮遊粒子状物質(SPM)の長期的評価に用いられます。

日平均値の年間98%値（大気汚染）

1年間に得られた1日平均値を整理し、低い方から98%に相当する値(365日の1日平均値があれば358番目の1日平均値)で、二酸化窒素(NO₂)の長期的評価に用いられます。

【ね】

年平均値（大気汚染）

1年間に測定した1時間値の和を測定時間で除した値です。

ただし、年間の測定時間が6,000時間未満のものは参考にとどめています(1年間は8,760時間)。

【は】

廃棄物

廃棄物とは、その物を占有している者が自ら利用し、又は他人に有償で売却することができないため不用となった物をいい、ごみ、し尿などの固形状又は液状のものをいいます。

ばい煙

大気汚染防止法では、次の物質をいいます。

- (1) 燃料等の燃料に伴い発生するいおう酸化物
- (2) 燃料等の燃焼又は電気炉等の使用に伴い発生するばいじん
- (3) 物の燃焼、合成、分解等の処理に伴い発生するカドミウム及びその化合物、塩素及び塩化水素、弗素、弗化水素及び弗化珪素、鉛及びその化合物、窒素酸化物

ばいじん

工場又は事業場から発生する粒子状物質のうち、燃料その他の物の燃焼等に伴い発生する物質をいいます。

8時間平均値（大気汚染）

8時間平均値とは、1日を0時00分～8時00分、8時00分～16時00分、16時00分～24時00分と8時間ごと

に3つの時間帯に区分したとき、それぞれの時間帯(8時間)における1時間値の平均値であり、1日につき3個存在します。

【ひ】

pH（水素イオン濃度）

溶液の中の水素イオン(H⁺)の濃度をpHという記号で表示します。pHは0から14で7.0を中性とし、酸性の場合は7より小さく、アルカリ性では7より大きい。

PCB（Polychlorinated biphenyls）

ポリ塩化ビフェニルの略称。不燃性で化学的にも安定であり、熱安定性にも優れた物質でその使用範囲は、絶縁油、潤滑油、ノーカーボン紙、インク等多数にわたっています。カネミ油事件の原因物質で、皮膚障害や肝臓障害を引き起こし、昭和47年以降製造は中止されています。

ppm（Parts Per Million）

ppb（Parts Per Billion）

濃度を表す単位で、ppmは100万分の1、ppbは10億分の1を示します。例えば、1ppmは1mg/kg、1mg/l、1cm³/m³を意味します。

BOD（生物化学的酸素要求量、Biochemical Oxygen Demand）

→「生物化学的酸素要求量」の項を参照

微小粒子状物質（PM2.5）

粒径2.5μm以下の大気中に浮遊する粒子状物質で、呼吸器疾患、循環器疾患及び肺がんの疾患に関して総体として人々の健康に一定の影響を与えていると言われています。ディーゼル車の排気ガスなどから発生します。

環境基準は「1年平均値が15μg/m³以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m³以下であること。」となっています。

【ふ】

浮遊粒子状物質（SPM：Suspended Particulate Matter）

大気中に浮遊している10μm以下の粒子状物質で、代表的な「大気汚染物質」のひとつ。環境基準は「1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下」と定められています。発生源は、工場のばい煙、自動車排出ガスなどの人の活動に伴うもののほか、自然界由来(黄砂、火山、森林火災など)のもの

12 用語解説

のがあります。

粉じん

大気環境中に浮遊する微細な粒子状の物質の総称として呼ばれる場合と、大気汚染防止法が大気汚染物質の発生源を規制するために定義しているものがあります。また、労働安全衛生法は作業環境における粉じんによる健康被害を防止する規制を行っています。大気環境中の粉じんには粒径、成分のさまざまなものがあり、降下ばいじんは $10\mu\text{m}$ 程度かあるいはそれ以上で比較的粒子が大きく、人の肺機能に影響すると考えられており、 $10\mu\text{m}$ 以下のものは浮遊粒子状物質と呼ばれています。

【ほ】

ポリ塩化ビフェニル (PCB : Polychlorinated Biphenyls)

→「PCB」の頁を参照

保全利用協定制度

沖縄県において環境保全型自然体験活動(いわゆる「エコツアー」に該当)に係る案内及び助言を業として行う者(以下「事業者」という。)が、環境保全型自然体験活動を行う場所の保全を目的として策定・締結するルールの中で、その内容が適切なものであれば、沖縄県知事がこれを適当なものとして認定することができる制度です。同制度は、沖縄振興特別措置法に盛り込まれている制度であり、地域の資源の保全と利用に責任がもてる事業者の活動を支援することで、エコツーリズムの理念に沿った自然体験活動が促進されることを目的としています。

【め】

MWh

mega-watt-hour(メガワット/時)

電力量の単位。1時間あたりの電力量。

メガ(mega)は100万(10^6)倍を表す単位。

ワット(watt)は電力の単位。

アワー(hour)は時間。

【ゆ】

有機溶剤

工場の生産工程において、有機溶剤は広範囲に使用されており、例えば、塗装工程におけるトルエン、キシレン等のシンナー類、金属の脱脂工程におけるトリクロロエチレン、テトラクロロエチレン等の塩素系有機溶剤等があります。蒸発し、気体として排出される窒素酸化物と

もに光化学スモッグの原因となり、また、それ自体有害性もあり、悪臭の原因となる物質も含まれています。

【よ】

溶存酸素量 (DO : Dissolved Oxygen)

水中に溶けている酸素量のことをいい、溶存酸素は水の自浄作用や水中の生物にとって必要不可欠なものです。溶解量を左右するのは水温、気圧、塩分などで、汚染度の高い水中では消費される酸素の量が多いので溶存する酸素量は少なくなります。きれいな水ほど酸素は多く含まれ、水温が急激に上昇したり、藻類が著しく繁殖するときは過飽和の状態になります。

【ら】

ラムサール条約

正式には「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、1975年に発効しました。イランのラムサールで採択されたことからこう呼ばれます。特に水鳥に注目し、その生息地として国際的に重要な湿地及びその動植物の保全を進めることと、湿地の適正な利用を進めることを目的としています。

日本は1980年に加入し、2012年現在、全国で46カ所の湿地が登録されています。沖縄県内では、1999年に漫湖(那覇市・豊見城市)、2005年に慶良間諸島海域(渡嘉敷村・座間味村)と名蔵アンバル(石垣市)、2008年に久米島の溪流・湿地(久米島町)、2012年に与那覇湾(宮古島市)が登録され、北海道に次ぎ全国でも登録湿地の多い県となっております。

【る】

類型あてはめ(類型指定)

水質汚濁の生活環境項目及び騒音の環境基準については、全国一律の環境基準値が設定されておらず、国において類型別に基準値が示され、これに基づき都道府県知事等が河川等の状況や、騒音に係る地域の土地利用の状況や時間帯に応じてあてはめ、指定していくことをいいます。

【わ】

ワシントン条約 (CITES : Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora)

正式には「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」といい、1975年に発効しました。野生動植物の国際取引を輸出国と輸入国が協力して規制することにより、絶滅のおそれのある野生動植物の保護を図ることを目的としています。日本は1980年に加入

し、1987年に「絶滅のおそれのある野生動植物の譲渡の規制等に関する法律」を制定(1993年廃止)しました。1992年には「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」を制定しました。

13 環境についての問い合わせ先

環境についてのお問い合わせは、県の環境各課、各保健所の担当窓口または市町村の環境担当課までお願いします。

(1) 県の機関

課所名	TEL 及び FAX	内容
環境政策課	TEL 098-866-2183 FAX 098-866-2308	環境基本計画に関する事 環境影響評価制度（環境アセスメント）に関する事 公害紛争に関する事 石綿健康被害救済制度に関する事
環境保全課	TEL 098-866-2236 FAX 098-866-2240	大気汚染に関する事 騒音・振動・悪臭に関する事 赤土等流出防止対策に関する事 水質汚濁に関する事 土壌汚染及び地盤沈下に関する事 化学物質に関する事 放射能調査に関する事
環境整備課	TEL 098-866-2231 FAX 098-866-2235	一般廃棄物に関する事 産業廃棄物に関する事 リサイクル対策に関する事 ごみの散乱に関する事 浄化槽に関する事 そ族昆虫の駆除に関する事
自然保護課	TEL 098-866-2243 FAX 098-866-2855	国立公園、国定公園、県立自然公園に関する事 自然環境の保全に関する事 鳥獣の保護及び狩猟に関する事 温泉に関する事 野生動植物の保護に関する事
環境再生課	TEL 098-866-2064 FAX 098-866-2497	地球温暖化対策に関する事 環境教育に関する事 自然環境の再生に関する事 緑化の推進に関する事
北部保健所 (生活環境班)	TEL 0980-52-2636 FAX 0980-53-2505	廃棄物処理の監視・指導に関する事 自動車リサイクル法に関する事 浄化槽に関する事 そ族昆虫及び衛生害虫の駆除指導に関する事 温泉に関する事 公害の監視及び調査に関する事
中部保健所 (環境保全班)	TEL 098-989-6610 FAX 098-938-9779	
南部保健所 (環境保全班)	TEL 098-889-6846 FAX 098-888-1348	
宮古保健所 (生活環境班)	TEL 0980-72-3501 FAX 0980-72-8446	
八重山保健所 (生活環境班)	TEL 0980-82-3243 FAX 0980-83-0474	

(2) 市町村環境担当部署一覧

No.	市町村名	担当課	電話
1	那覇市	環境部環境保全課	098-951-3229
2	宜野湾市	市民経済部環境対策課	098-893-4411
3	石垣市	市民保健部環境課	0980-82-1285
4	浦添市	市民部環境保全課	098-876-1234
5	名護市	環境水道部環境対策課	0980-52-0003
6	糸満市	市民健康部市民生活環境課	098-840-8124
7	沖縄市	市民部環境課	098-939-1212
8	豊見城市	市民部生活環境課	098-850-5520
9	うるま市	市民部環境課	098-973-5594
10	宮古島市	生活環境部環境衛生課	0980-75-5339
11	南城市	市民部生活環境課	098-917-5318
12	国頭村	福祉課	0980-41-2765
13	大宜味村	建設環境課	0980-44-3280
14	東村	建設環境課	0980-43-2205
15	今帰仁村	住民課	0980-56-2102
16	本部町	健康づくり推進課	0980-47-5602
17	恩納村	村民課	098-966-1205
18	宜野座村	村民生活課	098-968-8501
19	金武町	住民生活課	098-968-2460
20	伊江村	建設課	0980-49-3162
21	読谷村	総務部生活環境課	098-982-9214
22	嘉手納町	産業環境課	098-956-1111
23	北谷町	住民福祉部保健衛生課	098-982-7033
24	北中城村	住民生活課環境対策係	098-935-2233
25	中城村	住民生活課	098-895-2132
26	西原町	総務部生活環境安全課	098-945-5018
27	与那原町	生活環境安全課	098-945-4688
28	南風原町	総務部住民環境課生活環境班	098-889-1797
29	渡嘉敷村	民生課	098-987-2322
30	座間味村	総務・福祉課	098-896-4045
31	栗国村	民生課	098-988-2017
32	渡名喜村	民生課	098-989-2317
33	南大東村	福祉民生課	0980-22-2036
34	北大東村	福祉衛生課	0980-23-4055
35	伊平屋村	住民課環境保全室	0980-46-2142
36	伊是名村	建設環境課	0980-45-2004
37	久米島町	環境保全課	098-985-7126
38	八重瀬町	住民環境課	098-998-8203
39	多良間村	住民福祉課	0980-79-2623
40	竹富町	世界遺産推進室（自然環境関係） 町民課（生活環境関係）	0980-82-6191
41	与那国町	まちづくり課	0980-87-3580

皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

本書をお読みいただきありがとうございました。今後の環境白書作成の参考にさせていただきたいと思いますので、お気づきの点や、ご意見、ご感想等がございましたら、郵便、FAX、e-mail 等で下記のあて先までご送付ください。

【あて先】 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 4階
沖縄県環境部環境政策課
TEL：098-866-2183 FAX：098-866-2308
メール：aa025003@pref.okinawa.lg.jp

本書は、沖縄県環境部環境政策課のホームページでもご覧になれます。

沖縄県庁トップページ <http://www.pref.okinawa.jp/>

→組織で探す→環境部 環境政策課

令和2年度版 環境白書

令和3年3月

編集発行 沖縄県環境部環境政策課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

TEL : 098-866-2183

FAX : 098-866-2308

本白書は、再生紙を使用しています。